

シルバーホン あんしんSⅢ

取扱説明書

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録



技術基準適合認証品

このたびは、シルバーホンあんしんSⅢをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、通報先への通報が確実に完了することを約束するものではありません。回線の不通や機器の故障等の可能性も想定し、本商品を用いた通報伝達経路以外の方法（戸外スピーカを設置する等）を別途ご用意いただくことをお勧めいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・直接はんだ付けしない。
 - ・プラス・マイナスを針金などの金属類で短絡しない。
 - ・水や海水につけたり、ぬらさない。
 - ・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池パックは定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。電池パックの交換については、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

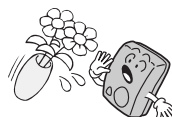
安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

●本商品で指定されていない電池パックは使用しないでください。電池パックの破損、液もれにより火災・けが・機器の故障の原因となることがあります。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

●本商品のそばに水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品その他の容器、または小さな金属等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



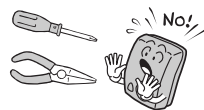
●万一、本商品の内部に水などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電池パックを抜いて当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。

●万一、本商品より煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電池パックを抜いて煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電池パックを抜いて当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

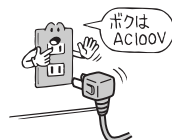
●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電池パックを抜いて当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所に依頼してください。



●本商品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品をAC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 警告

●電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コード等が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電話機コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



●電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電池パックを抜いて当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

●ぬれた手で電源プラグと電話機モジュラプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で本商品进行操作しないでください。感電の原因となることがあります。



●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

STOP お願い

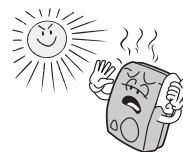
●本商品は、常時、AC100 Vの商用電源に電源プラグを差したままご使用いただくことを想定した設計となっております。電源プラグをコンセントから抜くと、電池パックの寿命が短くなったり、電池切れ通報機能や停電通報機能等が動作することがあります。長期不在等でやむを得ず電源プラグをコンセントから抜く必要がある場合は、電池パックを取り外してから電源プラグを抜いてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 警告

- 本商品を直射日光の当たるところや暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 本商品を調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所や湿気の多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品は、当社の提供する一般電話回線用です。ISDN回線、IP網やCATV網に接続して使用することはできません。また、ターミナルアダプタ等のアナログポートや他の通信機器（ファクス等）を経由して接続しないでください。緊急通報が正常に行われない場合があります。

- 他の通信機器（ファクス等）は、本商品の外TEL端子に接続してください。

⚠ 注意

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

お使いのとき

注意

- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源を抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 本商品と電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

お願い

- 本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ハンドフリー通話でお話しのときは、以下の点に注意してください。
 - ・マイクの近くには、ものなどを置かないでください。
 - ・マイクとの距離は、約50 cmを目安としてお話しください。
 - ・離れて会話する場合には、声の大きさ、室内の静けさ、反響などにもよりますが、見通し距離で約10 mまでを目安としてください。
 - ・本商品に手や顔を近づけないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
 - ・以下のような場合、スピーカからの音が途切れることがあります。
 - ・相手の方のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき
 - ・相手の方と同時に話し始めたとき
 - ・周囲の騒音が大きい場所に置いたとき

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品をぬれた手でさわったり、水をかけたりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 本商品に装着する電池パックは充電式ですので、設置時には充電されていません。完全充電に要する時間は、すべての機器を接続後、約10時間です。
- 本商品をぬれた雑巾・ベンジン・シンナー・石油・熱湯などで絶対にふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。洗剤をスプレーなどで直接かけることはさけてください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



置き場所について

STOP お願い

- 正常な動作を保つため、本商品は、次のような場所への持ち込みや設置はさけてください。
 - ・ 直射日光、暖房設備、ボイラーなどのために、著しく温度の上昇する場所。
 - ・ 製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
 - ・ 塵・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ テレビ・ラジオ・電気こたつ・アンプ・スピーカ・電子レンジ・電気カーペットの上や、家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

目次

お使いになる 前に

基本的な使い かた

便利な機能

オプションを 利用する

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
特長	12
マニュアルの読み進めかた	16
この取扱説明書の見かた	18
セットを確認してください	20
各部の名前とはたらき	21
壁掛けにして使うには	23
通報モードで使う	26
● 電話をかける	26
● 電話を受ける	26
● 緊急時には通報を優先する（緊急通報優先機能）	27
● 緊急通報する	28
● 相手の声や音声案内の音量を調節する	29
インターホンモードで使う	30
● 呼び出しをする	30
相手の声や音声案内の音量、呼出音量を調節する	31
● 緊急通報する	32
相手の声や音声案内の音量、呼出音量を調節する	33
● 呼出音が鳴ったときは	34
便利な機能のご紹介	36
● 通報先の電話番号を登録する（通報先の登録）	36
● 通報を完了する方法を設定する（通報巡回機能）	36
● センサが感知したら通報する（センサ通報機能）	36
● 電話回線を介さずに通報する（外部出力機器による通報）	37
● 通報完了したことを確認する（応答確認機能）	37
● 電池切れになると通報する（電池切れ通報機能）	37
● 通報するまでの時間を遅らせる（通報遅延時間の設定）	38
● 録音したメッセージで通報する （通報音声メッセージ送出機能）	38
● かかってきた電話に自動応答する（着信自動応答機能）	38
● 通報先の電話機から設定する（テレコントロール機能）	39
オプションのご紹介	42
オプションを接続して使うには	44
● 小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3	44
● 各種センサ	45
● リモートスイッチS	46
● 電池パック（CT-デンチパック-062）	46
● 外部出力機器	46

目次

こんなときには

停電になったときは	48
●電池パックを取り付けていない場合	48
●電池パックを取り付けている場合	51
電池パックを取り付けるには	54
●電池パックを交換する	54

設定と接続方法

作業の流れ	58
接続します	59
電話回線の種別を設定します	60
●お手持ちの電話機の回線種別を「PB」に設定する	60
●117（時報）に電話をかけてみる	60
●ダイヤル種別を設定する	62
こちらの電話番号を登録します	63
通報先の電話番号を登録します	64
●通報先の電話番号を登録する	64
●お手持ちの電話機の回線種別を、ご利用になっている 電話回線の種別に合わせる	65
●通報できることを確認する	65
システムデータを設定するには	66
●設定操作の流れ	66
●システムデータ項目一覧表	68
システムデータ設定一覧	71
●通報先の登録	71
●通報順序、通報回数、通報終了タイミングの設定	72
●相手を呼び出す時間、警報音モード、ハンドフリー通話、 警報音の自動停止の設定	74
●通報音声メッセージの録音	75
●設定値の初期化	76
●こちらの電話番号の登録	77
●ダイヤル種別、着信応答動作、「186」付加の設定	78
●着信自動応答の設定	79
●通報方式の設定	79
●通報の有無、接点出力方式の設定	80
●通報オプションタイマの設定	81
●センサの設定	81
●通報音声メッセージの設定	82
●優先通報選択の設定	83

付録

故障かな？と思ったら	84
● あんしんSⅢのトラブル	84
索引	87
仕様	89
保守サービスのご案内	90

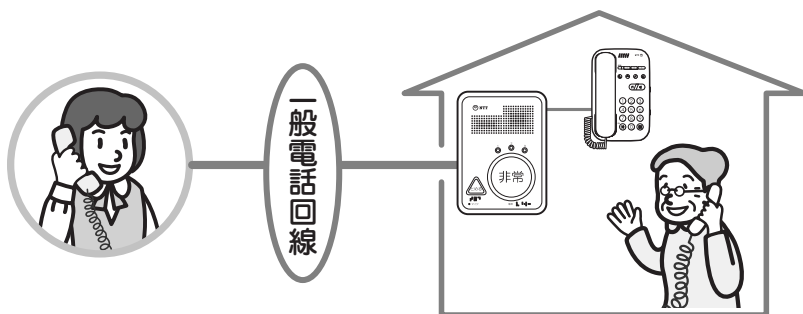
特長

本商品は、あらかじめ登録しておいた通報先に、簡単な操作で緊急通報がかけられる装置です。一人暮らしの方やお体の不自由な方に、いざというときの安心をお届けします。

お手持ちの電話機を接続して使う「通報モード」と、呼び出し・応答機能を搭載した「インターホンモード」の2種類の使いかたができます。お買い求め時は、通報モードに設定されています。

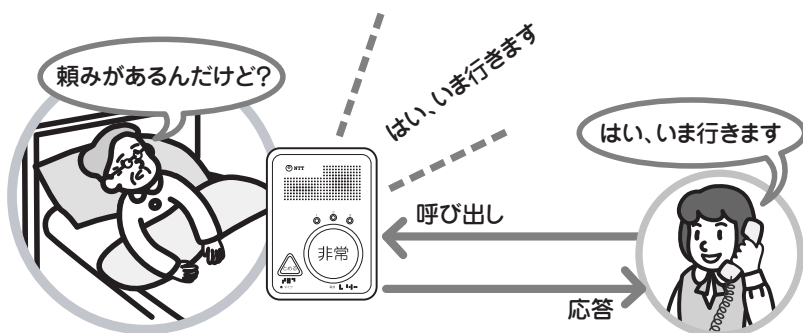
通報モード

本商品にお手持ちの電話機を接続して、今までと同じように電話をかけたり、受けたりすることができます。



インターホンモード

電話がかかってきたときは、マイクとスピーカを使って相手の方とお話することができます。



- インターホンモードでご利用のときは、オプションの停電時動作電池パック（☞P54）を取り付けてください。

緊急通報

非常を押すだけで、通報先に電話がつながります。通報先へは、音声合成メッセージなどでこちらの電話番号などを通知します。



通報メッセージ

通報先へ、音声合成メッセージでこちらの電話番号などを通知します。あらかじめ用意されている音声合成メッセージのほか、自分で録音したメッセージを使用することもできます。

ハンズフリー通話

通報先と電話がつながると、本商品のマイクとスピーカを使って、お話しすることができます。



特長

通報が完了したことを確認する

通報先の相手の方が① ㊦を押すことによって、本商品に通報完了確認の信号を送ることができます。通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないで、通報が完了したことにはなりません。



離れたところからの通報

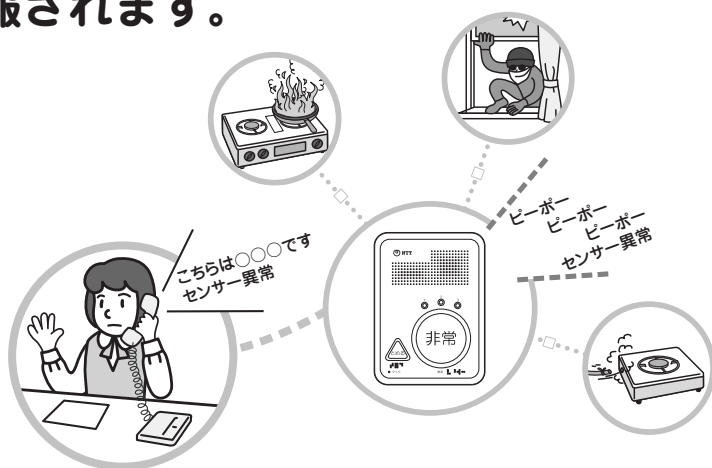
オプションの小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3と組み合わせてご利用になると、本商品から離れたところからでも緊急通報ができます。

インターホンモードでお使いのときは、かかってきた電話をペンダントで受け、本商品のマイクとスピーカでお話しができます。



センサによる自動通報

市販の防犯・防災センサなどを接続すると、火災やガスもれ、空き巣など、万一のときに、登録している通報先に通報されます。



- 本商品のセンサ端子には、市販のセンサまたはオプションのリモートスイッチSのどちらか1つを接続することができます。

停電時も安心

停電になったときも、緊急通報をしたり、接続している電話機で電話をかけたり、受けたりすることができます。

- ハンドフリー通話などの一部の機能はご利用になれません。(☞P49)
- オプションの停電時動作電池パックを取り付けていれば、停電になったときも、システムデータの設定以外のすべての機能をご利用になれます。(☞P51)

音声案内で設定内容を確認

電話機を使って機能を設定するときに、ハンドセットからの音声案内で設定内容を確認することができます。

マニュアルの読み進めかた

本商品を最初にお使いになるときは、この「あんしんSⅢ取扱説明書」、「接続早わかりガイド」、「操作早見表」を次の順序でお読みください。

取扱
説明書

お使いになる前に ➡P20

セットを確認してください

箱を開け、付属品がすべてそろっているか確認します。

取扱
説明書

接続早わ
かりガイド

設定と接続方法 ➡P58

接続します

本商品と電話回線、電話機を接続し、電話がかかることを確認したあとで、こちらの電話番号と通報先の電話番号を登録します。

操作
早見表

通報先

通報先の名前を記入します

登録した通報先の名前を空欄に記入します。

通報モードでお使いになる場合

取扱
説明書

操作
早見表

基本的な使いかた ➡P26

基本的な使いかたを覚えましょう

緊急通報のしかた、電話をかけたり受けたりする操作、音量の調節方法を確認します。

取扱
説明書

便利な機能 ➡P36

便利な使いかたを紹介します

本商品の便利な機能や、設定を変更することによって利用できる機能を紹介します。

インターホンモードでお使いになる場合

取扱
説明書

操作
早見表

基本的な使いかた  P30

基本的な使いかたを覚えましょう

呼び出しをするときの操作や、かかってきた電話を受ける操作、音量の調節方法を確認します。

取扱
説明書

システムデータを設定するには  P30、66、78

インターホンモードに設定します

お買い求め時は通報モードに設定されています。インターホンモードでお使いになる場合は、設定を変更します。

取扱
説明書

特長  P12

本商品の特長を紹介します

本商品を使ってどんなことができるのか見てみましょう。

取扱
説明書

オプションを利用する  P42

オプションを紹介します

電池パック、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3など、本商品で利用できるオプションを紹介します。

取扱
説明書

こんなときには  P48

こんなときにお使いください

停電になったときの動作、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明します。

取扱
説明書

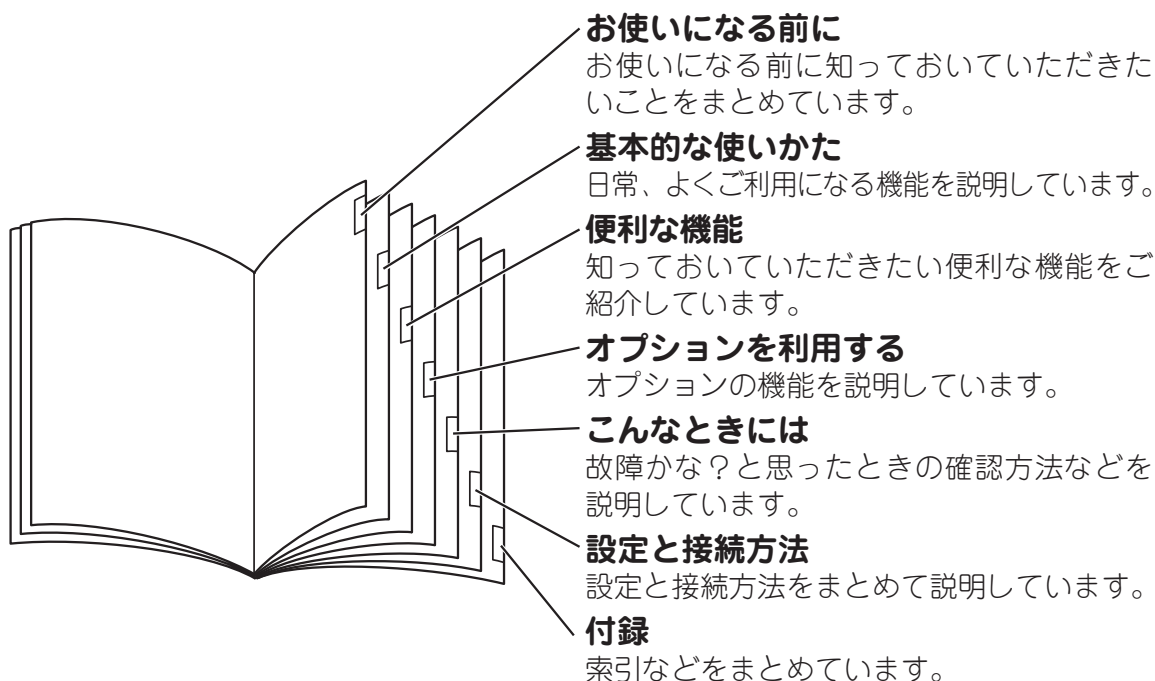
システムデータを設定するには  P66

いろいろな機能を設定します

電話機からいろいろな機能を設定します。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



操作ページの構成

タイトル

操作目的ごとに、タイトルが付けられています。

操作手順説明

操作内容を示すイラストや、操作で使うボタンなどを示しています。

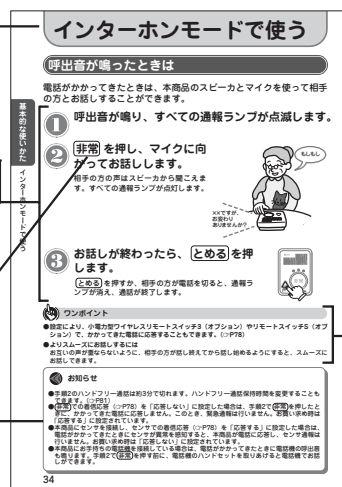
 はボタンなどを示しています。

お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

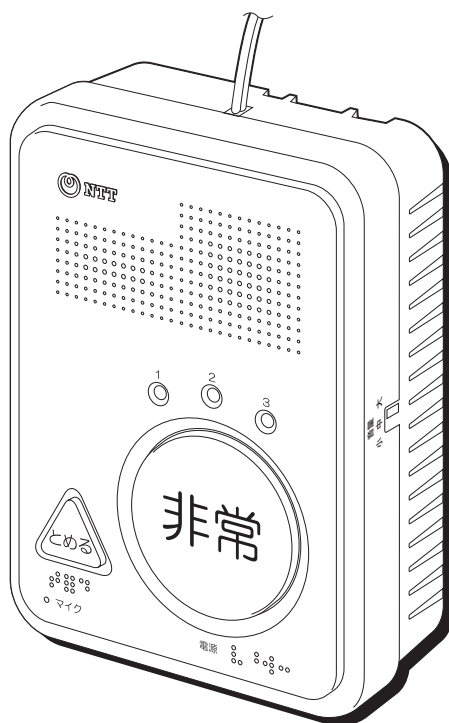


ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示します。

お使いになる前に

ここでは、本商品をお使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

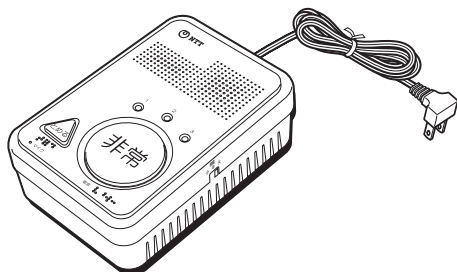


セットを確認してください	20
各部の名前とはたらき	21
壁掛けにして使うには	23

セットを確認してください

次のものがそろっているか、お確かめください。

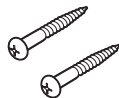
本体（一式）



付属品



電話機コード
(約3 m) (1本)



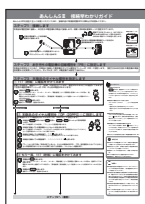
壁掛け用木ネジ
(2本)



呼出・応答シール
(1枚)



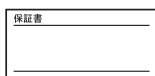
取扱説明書
(1部)



接続早わかりガイド
(1部)



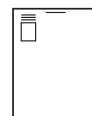
操作早見表
(1部)



保証書
(1枚)



「NTT通信機器お取扱
相談センタ」シール
(1枚)

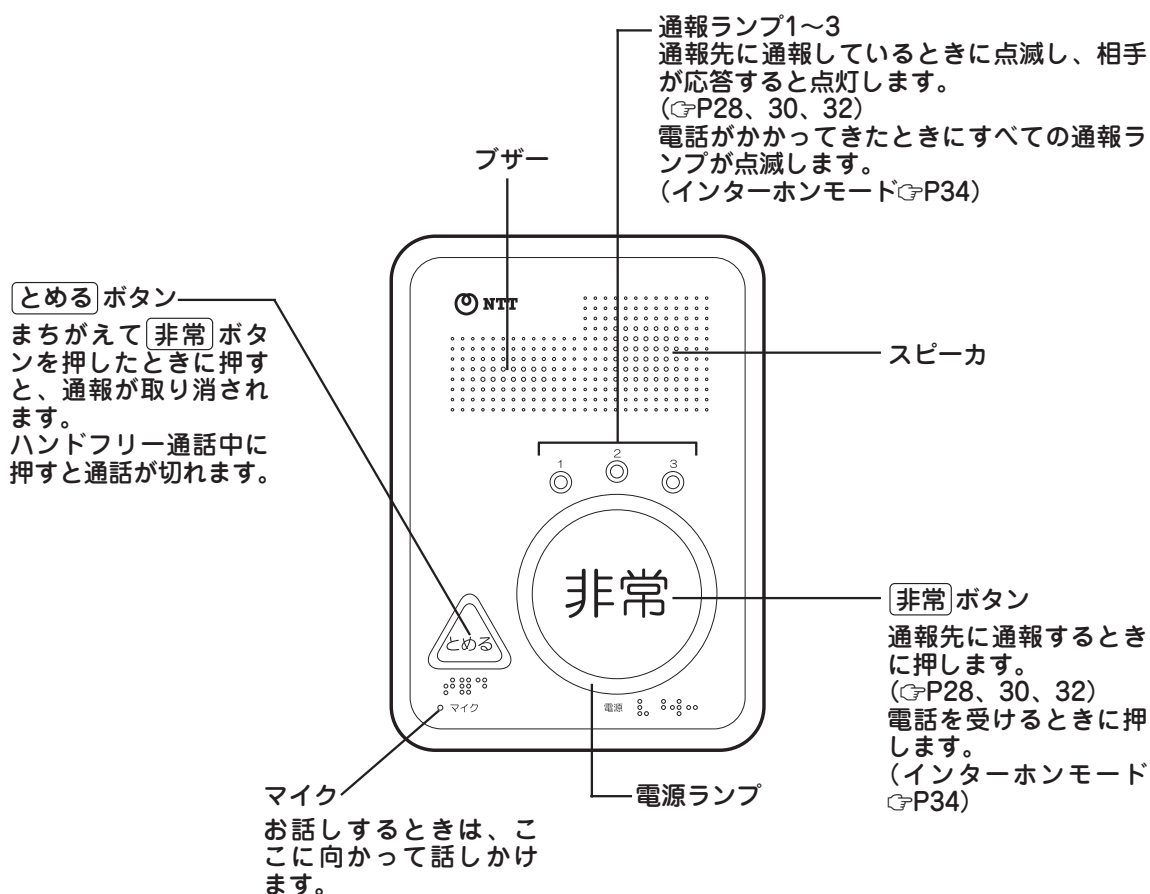


アンケートハガキ
(1枚)

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

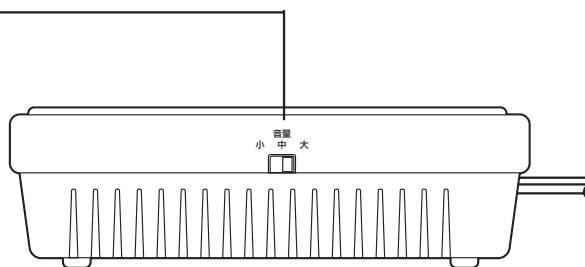
各部の名前とはたらき

前面



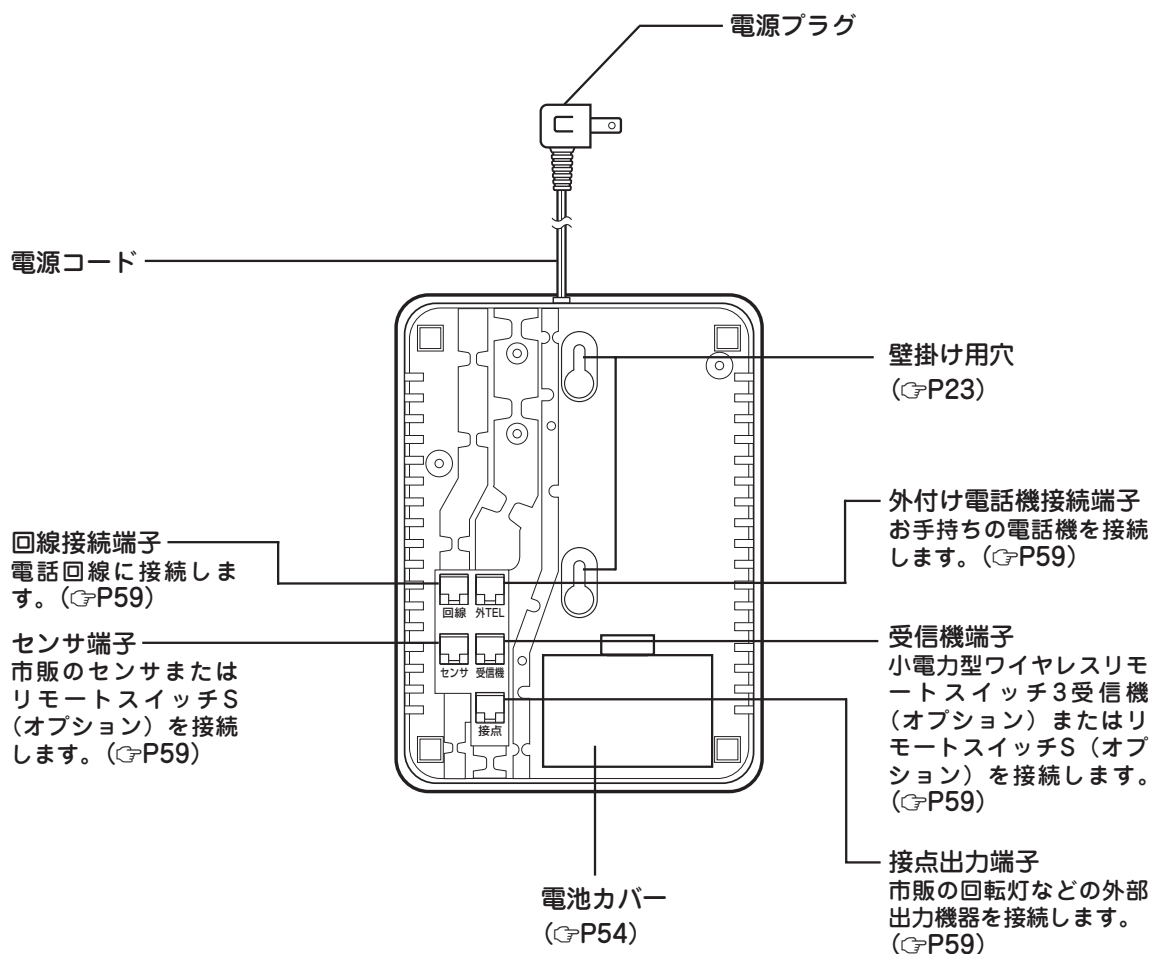
右側面

音量 つまみ
相手の方の声の音量、警報音や音声案内の音量などを調節するときに使います。
(☎P29)
相手の方の声の音量、警報音や音声案内の音量、電話がかかってきたときの呼出音の音量などを調節するときに使います。
(インターホンモード☎P31、33)



各部の名前とはたらき

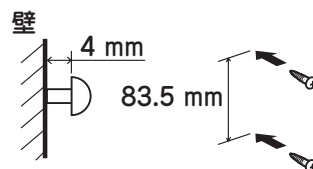
底面



壁掛けにして使うには

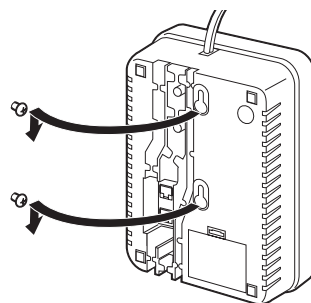
本商品を壁掛けにして使用することができます。壁掛け用木ネジ2本を使って壁や柱などに取り付けてご使用ください。

- 1** 2つの壁掛け用木ネジの取り付け位置（上下幅 83.5 mm）を決めます。



- 2** 壁に壁掛け用木ネジを取り付けます。
このとき壁掛け用木ネジの頭を壁より約4 mm程度出した状態にしてください。

- 3** 壁掛け用穴を壁に取り付けたネジにひっかけます。



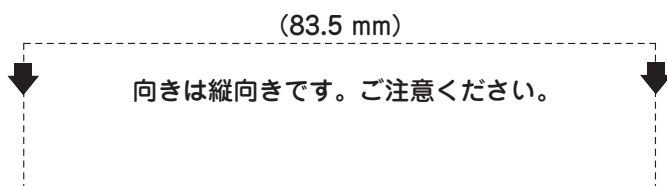
お知らせ

本商品が壁より離れすぎてしまったり、またネジの突き出し長さが少ないときはネジの突き出し長さを調整してください。

注意

ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に本商品を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。

壁に取り付ける際、この矢印の間隔に壁掛け用木ネジを取り付けてください。



向きは縦向きです。ご注意ください。

メ モ

基本的な使いかた

本商品は、通報モード、インターホンモードのどちらかのモードでお使いになることができます。ここでは、それぞれのモードでの基本的な使いかたを説明します。



通報モードで使う	26
インターホンモードで使う	30

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

通報モードで使う

本商品で緊急通報をしたり、お手持ちの電話機を接続して電話をかけたり受けたりすることができます。
お買い求め時は通報モードに設定されています。

電話をかける

電話機のハンドセットを取りあげて、「ツー」という発信音が聞こえてから電話番号を押します。
相手の方が出たらお話しします。



電話を受ける

呼出音が鳴ったら、電話機のハンドセットを取りあげて、お話しします。



お知らせ

- 通報中は、本商品に接続した電話機はご利用になれません。
- 本商品のシステムデータを設定（P66）したあとに電話機をご利用になるときは、ハンドセットを置き、約3秒待ってからハンドセットを取りあげてください。

緊急時には通報を優先する（緊急通報優先機能）

通報モードでご利用の場合に、本商品に接続した電話機でお話し中や電話がかかってきているときに「非常」が押されたりセンサからの異常が検出されると、電話機の通話を強制的に終了し、優先的に通報を行うことができます。



ワンポイント

●本商品に接続した電話機でお話し中のときは

「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが本商品に接続した電話機とお話し中の相手の両方に流れ、通話が切れます。

このあとに本商品が通報を行います。通報中は本商品に接続した電話機は使用できなくなります。オプションの電池パックを取り付けていない場合の停電中は、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージは、本商品に接続した電話機からは流れません。

●電話がかかってきているときは

かかってきた電話に本商品が応答し、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが電話をかけてきた相手の方に流れ、通話が切れます。

このあとに本商品が通報を行います。通報中は本商品に接続した電話機は使用できなくなります。



お知らせ

お手持ちの電話機の詳しい使いかたについては、電話機の取扱説明書を参照してください。

通報モードで使う

緊急通報する

からだの調子が悪いときなどに、登録してある通報先に通報できます。

1

非常を押します。

スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、緊急通報」という警報音と警報メッセージが流れ、通報ランプ1が点滅します。

通報先に電話がつながると通報ランプ1が点灯し、「こちらは（電話番号）です。緊急通報。緊急通報」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。



2

マイクに向かってお話しします。

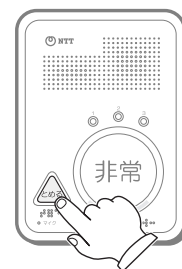
通報メッセージが終わったあとにお話してください。



3

お話しが終わったら、とめるを押します。

通報ランプ1が消え、通報を終了します。



ワンポイント

- まちがえて**非常**を押したときは**とめる**を押します。通報や呼び出しが停止されます。



ワンポイント

- **通報ランプの表示は**
通報ランプ1～3は、通報順序の1～3に対応しています。
- **1か所目の通報先に電話が繋がらなかったときは**
通報ランプ1が点灯し、2か所目、3か所目の通報先に通報します。通報が完了するまで、設定した回数通報を繰り返します。(お買い求め時の設定)
- **通報順序を変更するには (P72)**
- **通報する回数を設定するには (P72)**
通報を繰り返す回数を1～9回、無限回のいずれかに設定することができます。お買い求め時は、「3回」に設定されています。
設定している繰り返し回数までに通報が完了しないと、完了しない通報先の通報ランプが点灯したままになります。(とめる)を押すと通報ランプは消えます。
- **録音したメッセージで通報するには**
通報メッセージを録音したメッセージに変更することもできます。(P75、82)
- **よりスムーズにお話しするには**
お互いの声が重ならないように、相手の方が話し終えてから話し始めるようにすると、スムーズにお話できます。
- **通報が完了したことを確認するには**
 - ・テレコントロール機能の設定を「テレコントロールあり」に設定すると (P79)、通報先の相手の方が ① (⊕) を押すことによって、本商品に通報完了確認の信号を送ることができます。お買い求め時は「テレコントロールなし」に設定されています。「テレコントロールあり」に設定すると、通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないの、通報が完了したことにはなりません。
 - ・「テレコントロールあり」に設定すると手順1の通報メッセージは、「こちらは(電話番号)です。緊急通報。緊急通報。① (⊕) を入力してください」になります。
 - ・通報先の相手の方が、通報完了確認の信号を送るときは、手順2で ① (⊕) を押します。

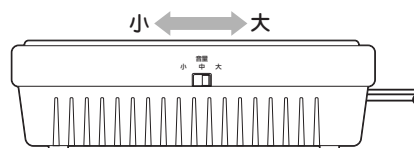


お知らせ

- 電話機でお話し中や、電話がかかってきているときに緊急通報が行われると、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」というメッセージが流れ、通話が切れます。このあと、本商品が緊急通報を行います。
- こちらの電話番号 (P77) を登録していない場合は、手順1で通報先に電話がつながると「緊急通報。緊急通報」という通報メッセージが流れます。
- 手順1の通報メッセージは2回流れます。(お買い求め時の設定)
- 手順2のハンドフリー通話は約3分で切れます。通報ランプ1が消え、通報先1への通報を終了し、次の通報先へ通報します。ハンドフリー通話保持時間を変更することもできます。(P81)
- 手順3で (とめる) を押して通話を終了したときは、通報先 (P71) が複数登録されていて、通報終了タイミング (P72) が「全宛先に通報して終了する」に設定されている場合でもすべての通報を終了します。
- 手順3で (とめる) を押さないで相手の方が電話を切った場合は、通報ランプ1が消え、通報先1への通報を終了し、次の通報先へ通報します。

相手の声や音声案内の音量を調節する

スピーカから聞こえる相手の方の声や警報音、音声案内などの音量は、3段階に調節することができます。



インターホンモードで使う

本商品を使って、呼び出しや緊急通報をしたり、かかってきた電話を受けたりすることができます。

- 「呼び出しをする」(☞下記)でお使いになるとき
次の設定を参考にしてください。(非常)を押して通報先を呼び出すときに、警報音や警報メッセージ、通報メッセージを流しません。また、かかってきた電話に(非常)を押して応答できます。
 - ・「通報モード/インターホンモード」の設定(☞P78の②)を「①:インターホンモード」に設定
 - ・「通報終了タイミング」の設定(☞P72の③)を「(省略):一宛先に通報して終了する」に設定
 - ・「緊急通報」の設定(☞P74の②)を「①:ランプ点滅のみ」に設定
 - ・「緊急通報メッセージ」の設定(☞P82の①)を「⑧:メッセージなし」に設定ご利用方法に応じて設定を変更してください。
- 「緊急通報する」でお使いになるとき(☞P32)

呼び出しをする

用事があるときなどに、登録してある通報先を呼び出すことができます。

1

非常を押します。

通報ランプ1が点滅します。
通報先に電話がつながると通報ランプ1が点灯します。



2

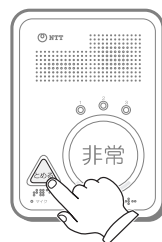
マイクに向かって
お話しします。



3

お話しが終わったら、**とめる**を押
します。

通報ランプ1が消え、通報を終了します。



ワンポイント

- まちがえて(非常)を押したときは
とめるを押します。通報や呼び出しが停止されます。



ワンポイント

- **通報ランプの表示は**
通報ランプ1～3は、通報順序の1～3に対応しています。
- **1か所目の通報先に電話が繋がらなかったときは**
通報ランプ1が点灯し、2か所目、3か所目の通報先に通報します。通報が完了するまで、設定した回数通報を繰り返します。(お買い求め時の設定)
- **通報順序を変更するには (P72)**
- **通報する回数を設定するには (P72)**
通報を繰り返す回数を1～9回、無限回のいずれかに設定することができます。お買い求め時は、「3回」に設定されています。
設定している繰り返し回数までに通報が完了しないと、完了しない通報先の通報ランプが点灯したままになります。(とめる)を押すと通報ランプは消えます。
- **録音したメッセージで通報するには**
通報メッセージを録音したメッセージに変更することもできます。(P75、82)
- **よりスムーズにお話しするには**
お互いの声が重ならないように、相手の方が話し終えてから話し始めるようにすると、スムーズにお話できます。
- **通報が完了したことを確認するには**
 - ・テレコントロール機能の設定を「テレコントロールあり」に設定すると (P79)、通報先の相手の方が ① ㊦を押すことによって、本商品に通報完了確認の信号を送ることができます。お買い求め時は「テレコントロールなし」に設定されています。「テレコントロールあり」に設定すると、通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないの、通報が完了したことはありません。
 - ・通報先の相手の方が、通報完了確認の信号を送るときは、手順2で ① ㊦を押します。
- **付属品の呼出・応答シールを(非常)に貼り付けてご利用いただくこともできます。**

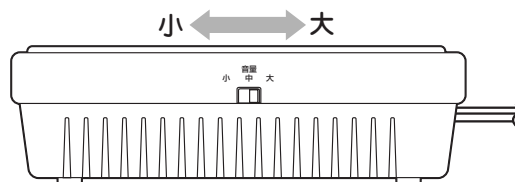


お知らせ

- インターホンモードでご利用のときは、オプションの停電時動作電池パック (P54) を取り付けてください。
- 本商品に接続した電話機でお話し中に呼び出しが行われると、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」というメッセージが本商品に接続した電話機とお話し中の相手の両方に流れ、通話が切れます。このあと、本商品が呼び出しを行います。
- 呼出・応答シールは、(非常)以外には貼らないでください。
- 呼出・応答シールは、(非常)表面の汚れを取り除いてから貼り付けてください。
- 手順2のハンドフリー通話は約3分で切れます。通報ランプ1が消え、通報先1への通報を終了し、次の通報先へ通報します。ハンドフリー通話保持時間を変更することもできます。(P81)
- 手順3で (とめる)を押して通話を終了したときは、通報先 (P71) が複数登録されていて、通報終了タイミング (P72) が「全宛先に通報して終了する」に設定されている場合でもすべての通報を終了します。

相手の声や音声案内の音量、呼出音量を調節する

スピーカから聞こえる相手の方の声や警報音、音声案内、電話がかかってきたときの呼出音などの音量は、3段階に調節することができます。



インターホンモードで使う

●「緊急通報する」(☎下記)でお使いになるとき

次の設定を参考にしてください。(非常)を押して通報先に緊急通報するときに、警報音や警報メッセージ、通報メッセージを流します。また、かかってきた電話に(非常)を押して応答できます。

・「通報モード/インターホンモード」の設定(☎P78の②)を「①:インターホンモード」に設定
ご利用方法に応じて設定を変更してください。

緊急通報する

からだの調子が悪いときなどに、登録してある通報先に通報できます。

1

非常を押します。

スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、緊急通報」という警報音と警報メッセージが流れ、通報ランプ1が点滅します。

通報先に電話がつながると通報ランプ1が点灯し、「こちらは(電話番号)です。緊急通報。緊急通報」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。



2

マイクに向かってお話しします。

通報メッセージが終わったあとにお話してください。



3

お話しが終わったら、とめるを押します。

通報ランプ1が消え、通報を終了します。



ワンポイント

● まちがえて(非常)を押したときは

(とめる)を押します。通報や呼び出しが停止されます。



ワンポイント

- **通報ランプの表示は**
通報ランプ1～3は、通報順序の1～3に対応しています。
- **1か所目の通報先に電話がつながらなかったときは**
通報ランプ1が点灯し、2か所目、3か所目の通報先に通報します。通報が完了するまで、設定した回数通報を繰り返します。(お買い求め時の設定)
- **通報順序を変更するには (P72)**
- **通報する回数を設定するには (P72)**
通報を繰り返す回数を1～9回、無限回のいずれかに設定することができます。お買い求め時は、「3回」に設定されています。
設定している繰り返し回数までに通報が完了しないと、完了しない通報先の通報ランプが点灯したままになります。**とめる**を押すと通報ランプは消えます。
- **録音したメッセージで通報するには**
通報メッセージを録音したメッセージに変更することもできます。(P75、82)
- **よりスムーズにお話しするには**
お互いの声が重ならないように、相手の方が話し終えてから話し始めるようにすると、スムーズにお話しできます。
- **通報が完了したことを確認するには**
 - ・テレコントロール機能の設定を「テレコントロールあり」に設定すると (P79)、通報先の相手の方が **①** **Ⓜ** を押すことによって、本商品に通報完了確認の信号を送ることができます。お買い求め時は「テレコントロールなし」に設定されています。「テレコントロールあり」に設定すると、通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないで、通報が完了したことにはなりません。
 - ・「テレコントロールあり」に設定すると手順1の通報メッセージは、「こちらは(電話番号)です。緊急通報。緊急通報。① **Ⓜ** を入力してください」になります。
 - ・通報先の相手の方が、通報完了確認の信号を送るときは、手順2で **①** **Ⓜ** を押します。

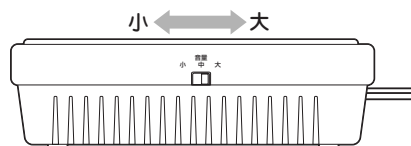


お知らせ

- インターホンモードでご利用のときは、オプションの停電時動作電池パック (P54) を取り付けてください。
- 本商品に接続した電話機でお話し中に緊急通報が行われると、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」というメッセージが本商品に接続した電話機とお話し中の相手の両方に流れ、通話が切れます。このあと、本商品が緊急通報を行います。
- こちらの電話番号 (P77) を登録していない場合は、手順1で通報先に電話がつながると「緊急通報。緊急通報」という通報メッセージが流れます。
- 手順1の通報メッセージは2回流れます。(お買い求め時の設定)
- 手順2のハンドフリー通話は約3分で切れます。通報ランプ1が消え、通報先1への通報を終了し、次の通報先へ通報します。ハンドフリー通話保持時間を変更することもできます。(P81)
- 手順3で **とめる** を押して通話を終了したときは、通報先 (P71) が複数登録されていて、通報終了タイミング (P72) が「全宛先に通報して終了する」に設定されている場合でもすべての通報を終了します。
- 手順3で **とめる** を押さないで相手の方が電話を切った場合は、通報ランプ1が消え、通報先1への通報を終了し、次の通報先へ通報します。

相手の声や音声案内の音量、呼出音量を調節する

スピーカから聞こえる相手の方の声や警報音、音声案内、電話がかかってきたときの呼出音などの音量は、3段階に調節することができます。



インターホンモードで使う

呼出音が鳴ったときは

電話がかかってきたときは、本商品のスピーカとマイクを使って相手の方とお話することができます。

1

呼出音が鳴り、すべての通報ランプが点滅します。

2

非常 を押し、マイクに向かってお話しします。

相手の方の声はスピーカから聞こえます。すべての通報ランプが点灯します。



3

お話しが終わったら、**とめる** を押します。

とめる を押すか、相手の方が電話を切ると、通報ランプが消え、通話が終了します。



ワンポイント

- 設定により、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3（オプション）やリモートスイッチS（オプション）で、かかってきた電話に応答することもできます。（☎P78）
- よりスムーズにお話しするには
お互いの声が重ならないように、相手の方が話し終えてから話し始めるようにすると、スムーズにお話できます。



お知らせ

- 手順2のハンドフリー通話は約3分で切れます。ハンドフリー通話保持時間を変更することもできます。（☎P81）
- **非常**での着信応答（☎P78）を「応答しない」に設定した場合は、手順2で**非常**を押したときに、かかってきた電話に応答しません。このとき、緊急通報は行いません。お買い求め時は「応答する」に設定されています。
- 本商品にセンサを接続し、センサでの着信応答（☎P78）を「応答する」に設定した場合は、電話がかかってきたときにセンサが異常を感知すると、本商品が電話に応答し、センサ通報は行いません。お買い求め時は「応答しない」に設定されています。
- 本商品にお手持ちの電話機を接続している場合は、電話がかかってきたときに電話機の呼出音も鳴ります。手順2で**非常**を押す前に、電話機のハンドセットを取りあげると電話機でお話しができます。

便利な機能

知っておいていただきたい便利な機能をご紹介します。



便利な機能のご紹介 36

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

便利な機能のご紹介

通報先の電話番号を登録する（通報先の登録）

通報先は7か所まで登録することができます。**非常**を押しての通報、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3による通報、センサによる通報、停電／復電通報、電池切れ通報で、登録した7か所の通報先の中からそれぞれ3か所の通報先を設定できます。

また、通報先（3か所）へ電話をかける順序を通報種別ごとに設定することができます。（☞P72、73）

通報を完了する方法を設定する（通報巡回機能）

通報先が応答しないと対応する通報ランプが点灯し、相手が応答して通報が完了すると通報ランプが消えます。

通報の完了は、次のどちらかの方法を選択することができます。お買い求め時は「全宛先に通報して終了する」に設定されています。（☞P72、73）

- ・「一宛先に通報して終了する」に設定したときは
設定している通報先のどれか1か所が応答すれば通報を完了します。
- ・「全宛先に通報して終了する」に設定したときは
すべての通報先に通報を完了するまで設定した回数通報を続けます。
- ・同じ通報先へ連続して通報を行う場合は、約1分間隔で通報を行います。

センサが感知したら通報する（センサ通報機能）

本商品には、市販の火災、ガスもれや防犯用などのセンサを1つ接続することができます。

センサ端子には、センサまたはオプションのリモートスイッチSのどちらか1つを接続できます。（☞P42、45）

これらのセンサが異常を感知すると、センサから本商品に通報され、「ピーポー、ピーポー、ピーポー、センサー異常」などの警報音や警報メッセージを鳴らし、さらにあらかじめ登録してある通報先に通報することができます。

お買い求め時は、センサ異常による通報は「通報する」に設定されています。（☞P80）

電話回線を介さずに通報する（外部出力機器による通報）

本商品の接点出力端子に市販の回転灯などの外部出力機器を接続して、電話回線を介さずに緊急事態を通報することができます。
お買い求め時は、接点出力方式は「通報起動から通報完了まで出力」に設定されています。（☞P80）

通報完了したことを確認する（応答確認機能）

通報先の相手の方が電話を受けたときに、① ㊦を押すことによって、本商品に通報完了確認の信号を送ることができます。（テレコントロール機能（☞P79）を「テレコントロールあり」に設定した場合）このとき相手の方には「信号を受信しました」という確認メッセージが聞こえます。

通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないのので、通報が完了したことにはなりません。
お買い求め時は「テレコントロールなし」に設定されています。（☞P79）

電池切れになると通報する（電池切れ通報機能）

オプションの電池パック（☞P46）を取り付けているときには、電池パックの寿命などで通電中に電池パックの電圧が一定より下がると、あらかじめ登録してある通報先に電池パックが寿命であることを通報することができます。（☞P53）
お買い求め時は、電池切れ通報は「通報する」に設定されています。（☞P80）



お知らせ

オプションの停電時動作電池パックを取り付けていない場合は、電池切れ通報は行われません。

便利な機能のご紹介

通報するまでの時間を遅らせる（通報遅延時間の設定）

誤動作を防ぐため、**（非常）**を押して約20秒たってから通報するように設定することができます。まちがえて**（非常）**を押してしまっても、すぐに**（とめる）**を押せば、通報が停止されます。

お買い求め時は、通報遅延時間は「通報遅延しない」に設定されています。（☞P81）

● 通報遅延中の約20秒間に他の通報やハンドフリー通話などが終了したときは、そのあと約20秒たってから通報を行います。

録音したメッセージで通報する（通報音声メッセージ送出機能）

電話機を使って、通報音声メッセージを録音し、通報するときにそのメッセージを流すことができます。**（非常）**を押しての通報、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3による通報、センサによる通報、電池切れ通報で、それぞれ1つずつの通報音声メッセージを録音できます。（☞P75）

お買い求め時は、通報音声メッセージは『「緊急通報」と通報する』などの音声合成メッセージに設定されています。（☞P82）

かかってきた電話に自動応答する（着信自動応答機能）

かかってきた電話に自動的に応答することができます。自動的に応答すると、「ただいま留守です。後ほどおかけ直してください」というメッセージが流れます。

このとき、相手の方の声がスピーカから聞こえ、こちらの声や音が相手の方に聞こえます。ハンドフリー通話保持時間（☞P81）で設定されている時間が経過すると、自動的に電話が切れます。設定されている時間が経過する前に電話を切るには、**（とめる）**を押します。

お買い求め時は、着信自動応答は「応答する」に設定されています。（☞P79）

インターホンモードでは、**（非常）**を押して電話に出ることもできます。（☞P34）



お知らせ

- 着信自動応答したあとのハンドフリー通話中に緊急通報が行われると「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージがスピーカからとお話し中の相手の方に流れ、通話が切れます。このあと、本商品が緊急通報を行います。
- 設定により、次のようなことができます。
 - ・ 相手の方からの操作により、テレコントロールを行う（☞P39、79）
 - ・ 自動応答するまでに鳴らす呼出音の回数を設定する（☞P79）
 - ・ 自動応答してからのハンドフリー通話の保持時間を設定する（☞P81）

通報先の電話機から設定する（テレコントロール機能）

通報先の電話機から、本商品のハンドフリー通話時間を延長したり、マイクのオン／オフを切り替えるなどの遠隔操作（テレコントロール）をすることができます。本商品の着信自動応答が設定されている場合は、外から本商品に電話をかけてテレコントロールを行うことができます。お買い求め時は、着信自動応答は「応答する」、着信自動応答回数は「20回」に設定されています。

- ・テレコントロールは、操作内容に対応したダイヤルボタンを押し、プッシュ信号を送ることによって行います。
お買い求め時は「テレコントロールなし」に設定されています。
(☞P79)

■ 外からテレコントロールを行う

- ① 本商品からかかってきた通報の電話を受けます。
本商品の着信自動応答が設定されている場合は、外から本商品に電話をかけると本商品が自動応答します。
- ② 次の操作を行います。
操作は、ハンドフリー通話時間（お買い求め時は3分）以内に行ってください。

操作内容	ダイヤルボタン	着信に自動応答したとき、または着信に応答したとき（インターホンモード）	通報時	停電中の通報時（電池パックを取り付けていない場合）
マイクをオンにして、ハンドフリー通話へ切り替える	④ (※)	○	○	×
マイクをオフにする	⑤ (※)	○	○	×
ハンドフリー通話時間を延長する（無限にする）	⑥ (※)	○	○	×
回転灯などの動作の制御（メーク）	⑦ (※)	○	○	×
回転灯などの動作の制御（ブレーク）	⑧ (※)	○	○	×
通報音声メッセージを再生する	② ① (※)	×	○	×
スピーカをオフにして、マイクの感度をアップする	④ ① (※)	○	○	×
通報完了として電話を切る（他の通報先には通報しない）	⑨ (※)	○	○	×
通報未完了として電話を切る（次の通報先を設定していれば通報する）	③ ① (※)	×	○	×
通報完了とし、ハンドフリー通話を継続する（次の通報先を設定していれば通報する）	① (Ⓜ)	×	○	○

○：テレコントロール可 ×：テレコントロール不可
(次ページへつづく)

便利な機能のご紹介

- ③ 「信号を受信しました」というメッセージが聞こえます。

ワンポイント

- **テレコントロールができる電話機は**
必ずプッシュ式（PB）またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、テレコントロールを行うことができます。
- 着信自動応答を設定するには（☎P79）
- ハンドフリーの通話保持時間を変更するには（☎P81）

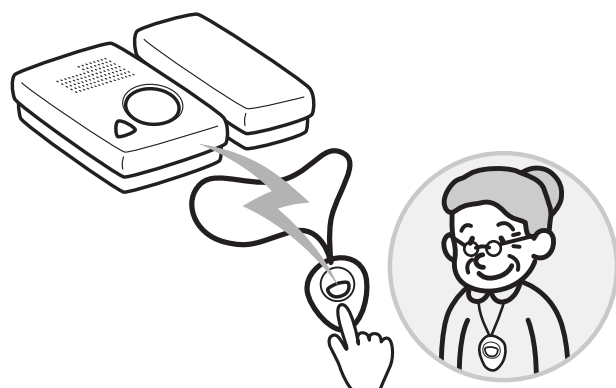
お知らせ

- 以下の通報は、通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、10～15秒間の無音のあとに通話が切れますので、手順2（☎P39）の操作は電話がつながったあと、10～15秒の間に行ってください。
 - 停電通報（☎P48、51）
 - 復電通報（☎P50、52）
 - 電池切れ通報（☎P53）
 - 停電時（本商品に電池パックを取り付けていない場合）の次の通報
 - ・ **（非常）**を押しての通報
 - ・ ペンダント（オプション）による通報（小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3に電池パックを取り付けてある場合）
 - ・ 受信機端子に接続したリモートスイッチ3（オプション）による通報
 - ハンドフリー通話のオン／オフ（☎P74）を「オフ（ハンドフリー通話にならない）」に設定した場合の次の通報
 - ・ **（非常）**を押しての通報
 - ・ ペンダント（オプション）による通報
 - ・ センサ（オプション）による通報
- 手順2でダイヤルボタンを ⑨ ⊗ と押すと、通報未完了により点灯している通報ランプも消灯します。
- 停電時（本商品に電池パックを取り付けていない場合）は、通報メッセージや音声案内が流れているときのテレコントロール（① ⊕）はできません。通報メッセージや音声案内が終わったあとに操作してください。
- 周囲の雑音により正常に動作しないことがあります。

お願い

テレコントロール機能をご利用になるときは、本商品に留守番機能付き電話機などを接続する場合でも、電話がかかってきたときに本商品が応答するように、本商品の着信自動応答回数を留守番機能付き電話機などの着信自動応答回数よりも少ない回数に設定してください。（☎P79）
この場合、留守番機能付き電話機などの留守番機能は利用できません。

オプションを利用する



オプションのご紹介	42
オプションを接続して使うには	44

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

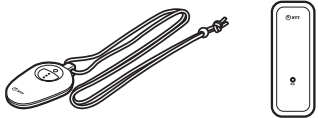
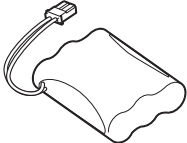
こんなときには

設定と接続方法

付
録

オプションのご紹介

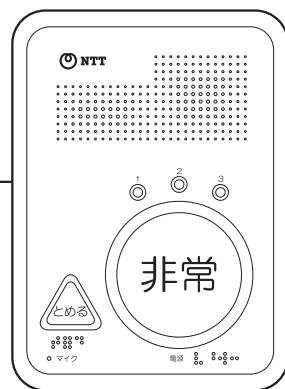
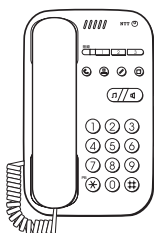
本商品には、より便利にお使いいただくためのオプションが用意されています。

小電力型ワイヤレス リモートスイッチ3 (☞P44)	リモートスイッチS (☞P46)	電池パック (CT-デンチ パック-062) (☞P46)
 ペンダント (送信機) 受信機		

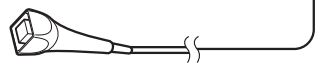
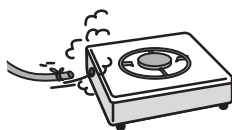
オプションを
利用する

オプションのご紹介

お手持ちの電話機



センサ端子には、市販のセンサ
(火災センサ／ガスもれセンサ
など)、リモートスイッチSのど
ちらか1台を接続してご利用い
ただけます。(☞P45、46)

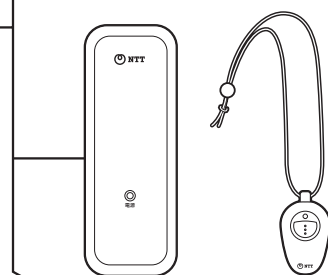


リモートスイッチSのスイッチ
を押すだけで、通報できます。
(☞P46)

- 本商品で利用できるセンサや外部出力機器の詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。(センサは、無電圧接点のものが使用できます。)
- インターホンモードでご利用のときには、停電時動作電池パック (☞P54) を取り付けてください。

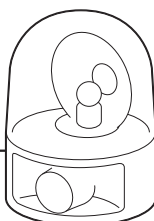


リモートスイッチSのスイッチを押すだけで、通報できます。(P46)



いつも身につけていられるペンダント型なので、本商品から少し離れたところにいるときでも安心です。(P44)

受信機端子には、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3受信機、リモートスイッチSのどちらかを接続してご利用いただけます。



接点出力端子には、市販の回転灯などの外部出力機器を接続してご利用いただけます。(P46)



お知らせ

- 受信機端子には、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3受信機およびリモートスイッチS以外は接続しないでください。
- リモートスイッチSをお使いになるときは、通報時の音声メッセージを録音し、通報音声メッセージの設定を「①：録音した音声で通報する」に設定してご利用ください。(P75、P82)

オプションを接続して使うには

接続したオプションを使って、緊急通報などをする方法をご紹介します。オプションのご購入については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3

本商品から少し離れたところにいるときでも、緊急連絡先に通報できます。ただし、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3でお話することはできません。

ペンダント（送信機）の通報ボタンを長めに押します。（約0.5秒以上）

ランプが点滅し、通報先に通報します。



ワンポイント

- まちがえて通報ボタンを押したときは本商品の（とめる）を押します。通報や呼び出しが停止されます。



お知らせ

- 通報ボタンはランプが点滅するまで長めに（約0.5秒以上）押してください。
- ペンダント（送信機）の電池の残量が少なくなると、ペンダント（送信機）の通報ボタンを押してもランプが点滅しなくなります。電池を交換してください。電池交換の方法については、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3の取扱説明書を参照してください。
- ペンダント（送信機）をご利用になるには、受信機を本商品に接続しておく必要があります。（P59）
- インターホンモードでお使いのときは、かかってきた電話をペンダント（送信機）で受け、本商品のマイクとスピーカでお話することもできます。（P78）この場合、ご利用の回数によってはペンダント（送信機）に内蔵されている電池寿命が短くなることがあります。



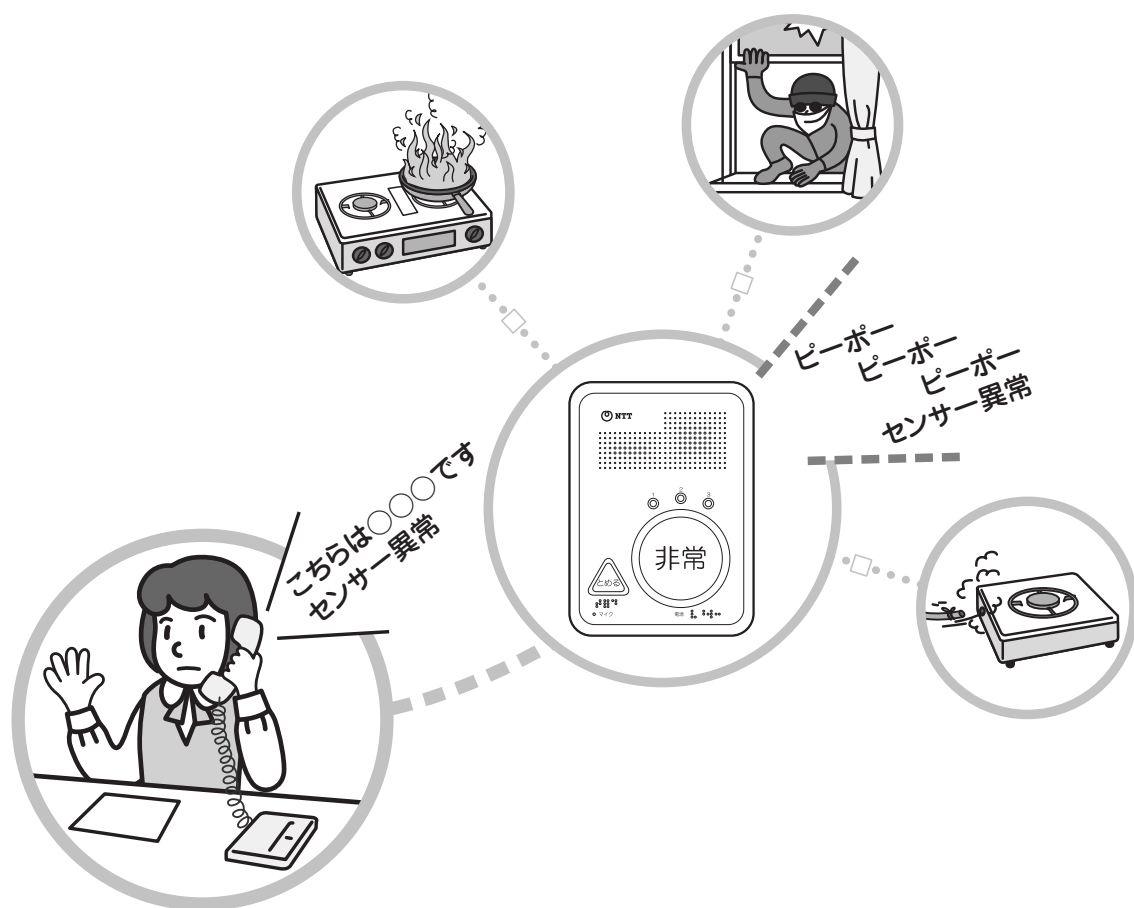
お願い

ペンダント（送信機）からの電波が届く範囲は、受信機から50 m程度（見通し距離）です。周囲の環境（壁、大型冷蔵庫など）によっては、ペンダント（送信機）の使用範囲が狭くなることがあります。

各種センサ

本商品には、火災、ガスもれ、防犯用などの市販のセンサを1つ接続することができます。

センサが異常を感知すると、本商品が警報音を鳴らし、あらかじめ登録してある通報先に自動的に通報します。



オプションを
利用する

オプションを接続して使うには

- 本商品で利用できるセンサの詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。(センサは、無電圧接点のものが使用できます。)

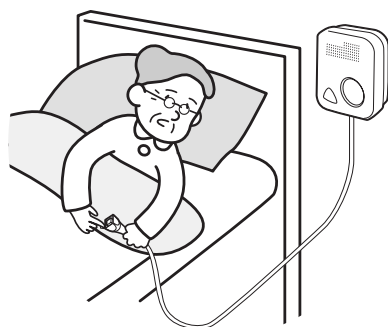
オプションを接続して使うには

リモートスイッチS

リモートスイッチSは、本商品のセンサ端子または受信機端子どちらかに接続することができます。

リモートスイッチSのスイッチを押すだけで、通報できます。

- リモートスイッチSをお使いになるときは、通報時の音声メッセージを録音し、通報音声メッセージの設定を「①：録音した音声で通報する」に設定してご利用ください。（☞P75、82）

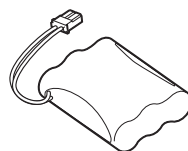


電池パック（CT-デンチパック-062）

本商品は停電になっても通報することが可能です。

さらに、電池パックを取り付けることにより、停電時でもシステムデータの設定以外のすべての機能をご利用になれます。

なお、インターホンモードでご利用のときは、必ず電池パックを取り付けてください。



外部出力機器

本商品の接点出力端子に市販の回転灯などの外部出力機器を接続して、電話回線を介さずに緊急事態を通報することができます。

- 本商品で利用できる外部出力機器の詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。



こんなときには



停電になったときは	48
電池パックを取り付けるには	54

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

停電になったときは

停電中本商品は、一部の機能が利用できなくなりますが、停電のときでも通報したり、接続している電話機で電話をかけたり受けたりすることができます。オプションの電池パックを取り付けていれば、システムデータの設定以外の機能を利用することができます。

電池パックを取り付けていない場合

■ 停電になったとき

停電／復電通報を「通報する」に設定していると、停電になったとき、自動的に通報先に通報を行います。お買い求め時は「通報する」に設定されています。

- ① ブザーから「ピーピーピーピー・・・」という警報音が鳴り、通報ランプ1が点滅します。
- ② 通報先に電話がつながり、相手の方が応答すると、「こちらは（電話番号）です。＊ 停電です。停電です」という通報メッセージが流れます。通報が完了すると、通報ランプ1が消えます。通報が完了していないときは、通報ランプ1が約3秒点灯してから消えます。
＊こちらの電話番号の登録が必要です。（☞P63）



ワンポイント

- 停電／復電通報を設定するには（☞P80）
- 通報ランプの表示は
通報ランプ1～3は、通報順序の1～3に対応しています。（とめる）を押すと、通報ランプは消えます。
- 1か所目の通報先で通報が完了しなかったときは
通報ランプ1が約3秒間点灯し、消えます。2か所目、3か所目の通報先に通報し、通報が完了するまで、設定した回数通報を繰り返します。（お買い求め時の設定）ただし、同じ通報先への連続した通報は行えません。
- 通報順序を変更するは（☞P73）



お知らせ

- 手順2で通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、10～15秒間の無音のあとに通話が切れます。
- 手順2の通報メッセージは2回流れます。（お買い求め時の設定）
- 通報中に電話機コードを抜いた場合は、通報は停止し、通報の繰り返しは行いません。
- 停電中は、設定を行うことはできません。



電源プラグが正しく差し込まれていないと、平常時に「停電です」というメッセージが流れてしまったり、停電通報が行われてしまうことがあります。電源プラグを正しく差し込み、決して抜かないでください。

停電中は

停電中は、次のように動作します。利用できる機能であっても、通常時と動作が異なる場合があります。

●利用できる機能

機能	停電時の動作
緊急通報	(非常)を押して通報することができます 通報開始から相手の方が応答するまで「ピーピーピーピー・・・」という警報音が鳴ります
接続している電話機	電話をかけたり、受けたりすることができます
小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3による通報	・受信機端子に接続した小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3（オプション）に電池パックを取り付けていれば、ボタンを押して通報することができます ・受信機端子に接続したリモートスイッチS（オプション）はボタンを押して通報することができます
停電／復電通報	・停電になったとき、「ピーピーピーピー・・・」という警報音が鳴り、自動的に通報します ・停電から復旧したときは、「ピーポー、ピーポー、ピーポー、停電が復旧しました」という通報メッセージが流れ、自動的に通報します
通報時のランプ表示	通報先が応答しないときは、通報ランプが約3秒間点灯し消えます
緊急通報優先機能	本商品に接続した電話機でお話中に緊急通報が行われると、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージがお話中の相手のみに流れ、通話が切れます
通報停止機能	(とめる)を押して、通報を停止することができます
通報音声メッセージ	メッセージを録音した場合でも、通報するときのメッセージは、音声合成メッセージに自動的に変更になります
通報先応答確認機能	相手の方が ① (Ⓜ)を押すと、通報完了とします 次の通報先を設定していれば通報します
メモリに記憶している内容	保持されます

●利用できない機能

機能	停電時の動作
同じ通報先への連続した通報	同じ通報先への連続した通報は行えません
ハンドフリー通話	ハンドフリー通話は行えません
テレコントロール機能	① (Ⓜ)以外のテレコントロール機能は利用できません
センサ通報	センサ端子に接続している各種センサやリモートスイッチSは利用できません
外部出力機器への出力	接点出力端子に接続している回転灯などの外部出力機器は動作しません
着信自動応答機能	着信自動応答機能は利用できません
システムデータの設定	システムデータの設定は行えません
インターホンモード	インターホンモードでの利用はできません



お知らせ

- (非常)や受信機端子に接続したリモートスイッチS（オプション）は、通報を開始するまで長めに押してください。
- 通報時、「ピーピーピーピー・・・」という警報音が聞こえるまでに時間がかかることがあります。また、通報操作後、「ピーピーピーピー・・・」という警報音が聞こえるまでの間に (とめる)を押しても通報は停止しませんので、「ピーピーピーピー・・・」という警報音が聞こえてから(とめる)を押してください。
- 通報中に電話機コードを抜いた場合は、通報は停止し、通報の繰り返しは行いません。
- 以下の通報は、通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、10～15秒間の無音のあとに通話が切れます。
 - ・ (非常)を押しての通報
 - ・ ペンダント（オプション）による通報（小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3に電池パックを取り付けてある場合）
 - ・ 受信機端子に接続したリモートスイッチ3（オプション）による通報
- (非常)による通報（☞P80）が「通報しない」に設定されている場合も通報を行います。
- ペンダントによる通報（☞P80）が「通報しない」に設定されている場合も通報を行います。
- ダイヤル種別を「DP（20PPS）」に設定してお使いの場合は、通報時の「ピーピーピーピー・・・」という警報音の音量が小さくなる場合があります。

停電になったときは

■ 停電が復旧したとき

停電／復電通報を「通報する」に設定していると、停電が復旧したとき、自動的に通報先に通報を行います。お買い求め時は、「通報する」に設定されています。

① スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、停電が復旧しました」というメッセージが流れ、通報ランプ1が点滅します。

② 通報先に電話がつながると通報ランプ1が点灯し、「こちらは（電話番号）です。＊停電が復旧しました。停電が復旧しました」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。

通報が完了すると、通報ランプ1が消えます。通報が完了していないときは、通報ランプ1が点灯したままになります。

＊こちらの電話番号の登録が必要です。（☞P63）



ワンポイント

- 停電／復電通報を設定するには（☞P80）
- 通報ランプの表示は
通報ランプ1～3は、通報順序の1～3に対応しています。（とめる）を押すと、通報ランプは消えます。
- 1か所目の通報先で通報が完了しなかったときは
通報ランプ1が点灯し、2か所目、3か所目の通報先に通報します。通報が完了するまで、設定した回数通報を繰り返します。（お買い求め時の設定）
- 通報順序を変更するは（☞P73）



お知らせ

- 停電が復旧したときの通報は、停電になったときの通報（☞P48）に対して通報先が1か所でも応答した場合に行われます。
- 手順2で通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、10～15秒間の無音のあとに通話が切れます。
- 手順2の通報メッセージは2回流れます。（お買い求め時の設定）
- 停電が復旧してから電源ランプが緑色に点灯するまでの約6秒間は、本商品は使用できません。
- 通報中に停電が復旧したときは、停電動作での通報を継続し、通報終了後停電が復旧したときの通報を行います。



警告

電源プラグが正しく差し込まれていないと、平常時に「停電です」というメッセージが流れてしまったり、停電通報が行われてしまうことがあります。電源プラグを正しく差し込み、決して抜かないでください。

電池パックを取り付けている場合

オプションの電池パックを取り付けていると、停電になったときは電池パックで動作します。

電池パックをご使用になる場合は、あらかじめ取り付けておいてください。(P54)

停電になったとき

停電／復電通報を「通報する」に設定していると、停電になったとき、自動的に通報先に通報を行います。お買い求め時は「通報する」に設定されています。

① スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、停電です」というメッセージが流れ、通報ランプ1が点滅します。

② 通報先に電話がつながると通報ランプ1が点灯し、「こちらは（電話番号）です。＊停電です。停電です」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。

通報が完了すると、通報ランプ1が消えます。通報が完了していないときは、通報ランプ1が点灯したままになります。

＊こちらの電話番号の登録が必要です。(P63)



お知らせ

- 手順2で通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、10～15秒間の無音のあとに通話が切れます。
- 手順2の通報メッセージは2回流れます。(お買い求め時の設定)
- 停電中は、設定を行うことはできません。

停電中は

停電になって電池パックで動作しているときは、電源ランプが点滅します。

電池パックが満充電の状態で停電開始から約8時間以内であれば、1回以上通電と同じ状態で緊急通報が行えます。満充電には10時間以上かかります。ただし、オプション機器の接続の有無および本商品やオプション品の使用状態などによって、通電と同じ状態で緊急通報が行える時間が短くなることがあります。

停電中は、システムデータの設定以外の機能をご利用になれません。



お願い

電池パックを取り付けたときや交換したときは、必ず10時間以上充電してください。10時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しません。

停電になったときは

■ 電池パックの電池残量がなくなったとき

停電中に電池パックの電池残量がなくなったときは、「電池パックを取り付けていない場合」(P49、50)の動作をします。



お知らせ

- 停電中に電池パックの電池残量がなくなったときや停電中に電池パックを取り外したときは、電池切れ通報(P53)は行いません。
- 停電中に電池パックの電池残量がなくなったときや停電中に電池パックを取り外したときは、待受け中の通報(P83お知らせ)は取り消されます。

■ 停電が復旧したとき

停電／復電通報を「通報する」に設定していると、停電が復旧したとき、自動的に通報先に通報を行います。お買い求め時は、「通報する」に設定されています。

①

スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、停電が復旧しました」というメッセージが流れ、通報ランプ1が点滅します。

②

通報先に電話がつながると通報ランプ1が点灯し、「こちらは(電話番号)です。* 停電が復旧しました。停電が復旧しました」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。

通報が完了すると、通報ランプ1が消えます。通報が完了していないときは、通報ランプ1が点灯したままになります。

* こちらの電話番号の登録が必要です。(P63)



ワンポイント

- 停電／復電通報を設定するには (P80)
- 電池切れ通報を設定するには (P80)
- 通報ランプの表示は
通報ランプ1～3は、通報順序の1～3に対応しています。**とめる**を押すと、通報ランプは消えます。
- 1か所目の通報先で通報が完了しなかったときは
通報ランプ1が点灯し、2か所目、3か所目の通報先に通報します。通報が完了するまで、設定した回数通報を繰り返します。(お買い求め時の設定)
- 通報順序を変更するには (P73)



お知らせ

- 停電が復旧したときの通報は、停電になったときの通報(P51)に対して通報先が1か所でも応答した場合に行われます。
- 手順2で通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、10～15秒間の無音のあとに通話が切れます。
- 手順2の通報メッセージは2回流れます。(お買い求め時の設定)
- 電池パックの電池残量がなくなったあと停電が復旧したときは、必ず10時間以上充電してください。10時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しません。



警告

電源プラグが正しく差し込まれていないと、平常時に「停電です」というメッセージが流れてしまったり、停電通報が行われてしまうことがあります。電源プラグを正しく差し込み、決して抜かないでください。

■ 電池パックが寿命になったとき

電池切れ通報を「通報する」に設定していると、電池パックの寿命などで通電中に電池パックの電圧が一定より下がったとき、通報先に通報を行います。お買い求め時は、「通報する」に設定されています。

- ① スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、電池切れです」というメッセージが流れ、通報ランプ1が点滅します。
- ② 通報先に電話がつながると通報ランプ1が点灯し、「こちらは（電話番号）です。* 電池切れです。電池切れです」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。
通報が完了すると、通報ランプ1が消えます。通報が完了していないときは、通報ランプ1が点灯したままになります。
※こちらの電話番号の登録が必要です。（☎P63）



ワンポイント

- 電池切れ通報を設定するには（☎P80）
- 録音したメッセージで通報するには（☎P75、82）
- 電池パック交換の目安は
電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度ご使用になれます。



お知らせ

- 手順2で通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、10～15秒間の無音のあとに通話が切れます。
- 手順2の通報メッセージは2回流れます。（お買い求め時の設定）
- 電池切れ通報中に停電になった場合は、電池切れ通報を中止します。

電池パックを取り付けるには

停電になったときでもシステムデータの設定以外の機能を利用するためには、オプションの電池パック（CT-デンチパック-062）の取り付けが必要です。

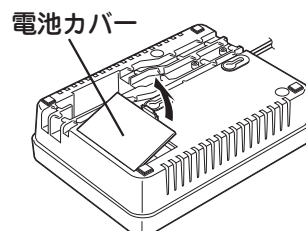
電池パックを取り付けたあと、本商品の電源プラグをコンセント（AC100 V、50 Hzまたは60 Hz）に差し込むと電池パックの充電を開始します。

電池パックのご購入については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

① 本商品の回線接続端子に接続した電話機コードを抜きます。

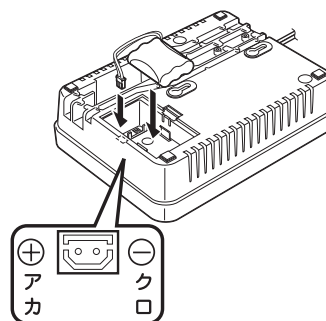
② 電源プラグをコンセントから抜きます。

③ 電池カバーのツメを押し下げながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。

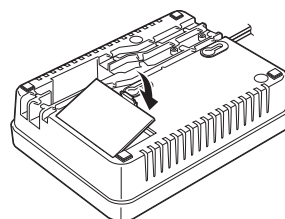


④ 電池パックのコネクタを差込口に差し込み、電池パックを入れます。

電池パックのコネクタを差し込む向きは一方に決まっています。力を入れすぎないように注意して差し込んでください。



⑤ 電池カバーを取り付けます。



⑥ 電源プラグをコンセント（AC100 V、50 Hzまたは60 Hz）に差し込みます。電池パックの充電を開始します。

⑦ 本商品の回線接続端子に電話機コードを差し込みます。

電池パックを交換する

電池パックは停電時動作の消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度ご使用になれます。長時間充電しても、すぐに電池の容量がなくなる場合は、新しい電池パック（CT-デンチパック-062）に交換してください。電池パックのご購入については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

- ① 本商品の回線接続端子に接続した電話機コードを抜きます。
- ② 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ③ 電池カバーのツメを押し下げながら、持ち上げるように電池カバーを開けます。
- ④ 電池パックのコネクタを抜きます。
- ⑤ 新しい電池パックに交換し、電池パックのコネクタを差込口に差し込みます。
電池パックのコネクタを差し込める向きは一方に決まっています。力を入れすぎないように注意して差し込んでください。
- ⑥ 電池パックを入れます。
- ⑦ 電池カバーを取り付けます。
- ⑧ 電源プラグをコンセント（AC100 V、50 Hzまたは60 Hz）に差し込みます。
電池パックの充電を開始します。
- ⑨ 本商品の回線接続端子に電話機コードを差し込みます。

■ 電池パック回収のお願い



電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。端子または接続コードにテープを貼るなどの処理をしてから当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いいたします。

⚠ 危険

電池パックについて

- 電池パックの取り扱い、次の点にご注意ください。
- ・必ず専用のものをお使いください。
 - ・取り出して充電しないでください。
 - ・火の中に投入したり、分解、加熱しないでください。



ワンポイント

● 電池パックの使用可能時間は

電池パックが満充電の状態ですべての機能から約8時間以内であれば、1回以上通電と同じ状態で緊急通報が行えます。満充電には10時間以上かかります。ただし、オプション機器の接続の有無および本商品やオプション品の使用状態などによって、通電と同じ状態で緊急通報が行える時間が短くなることがあります。

STOP

お願い

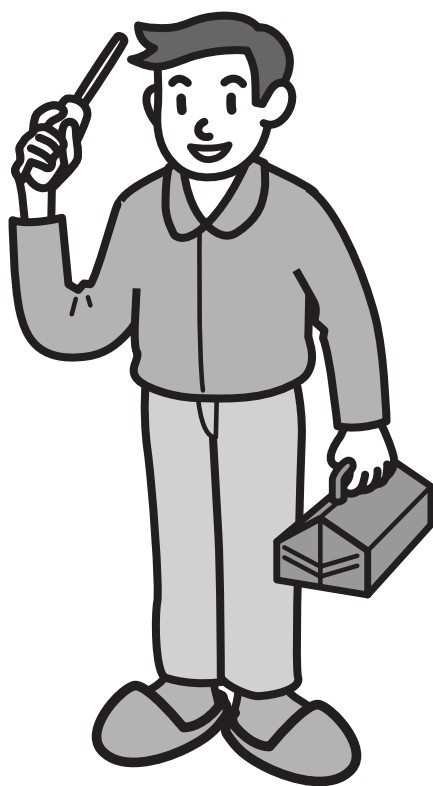
- 電池パックは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で取り付けてください。電源プラグをコンセントに差し込んだまま電池パックを取り付けた場合は、電池パックの充電を開始しません。
- 電池カバーを取り付けるときに、電池パックのコードを電池カバーとケースの間にはさみこまないようにしてください。
- 電池パックのコードを無理に引っ張ったり、コネクタを無理に差し込んだりしないでください。
- 初めてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず10時間以上充電してください。10時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しません。
- 電池パックの取り付けは、あらかじめ静電気を除去してから行ってください。

こんなときには

電池パックを取り付けるには

メ 毛

設定と接続方法



作業の流れ	58
接続します	59
電話回線の種別を設定します	60
こちらの電話番号を登録します	63
通報先の電話番号を登録します	64
システムデータを設定するには	66
システムデータ設定一覧	71

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

オプションを
利用する

こんなときには

設定と接続方法

付
録

作業の流れ

本商品の接続と設定方法を説明します。作業の流れは次のようになっています。お買い求め時は通報モードに設定されています。(☞P78)

接続します (☞P59)

本商品と電話回線、電話機を接続します。



電話回線の種別を設定します (☞P60)

本商品の機能を設定するには、本商品に接続している電話機の回線種別を「PB」に設定する必要があります。まず、電話機の取扱説明書などを確認して、電話機の回線種別を「PB」に設定します。

本商品の(非常)を押して、あらかじめ通報先1に登録されている117(時報)に電話がかかるかどうかを確認します。

電話がかからなかったときは、ご利用の電話回線の種別に合わせて、本商品のダイヤル種別を「DP(20PPS)」に設定します。お買い求め時は「PB」に設定されています。



こちらの電話番号を登録します (☞P63)

通報先にこちらの電話番号などを伝えるために、電話番号を登録します。こちらの電話番号は必ず登録してください。



通報先の電話番号を登録します (☞P64)

通報先1に通報先の電話番号を登録し、(非常)を押して通報できるように設定します。操作早見表に通報先の名前を記入しておきましょう。

設定が終わったら、電話機の回線種別をご利用になっている電話回線の種別に合わせます。



通報できることを確認します (☞P65)

通報先1の相手に通報できることを確認します。

通報先の相手の方にこれから通報テストをすることをあらかじめ連絡してください。

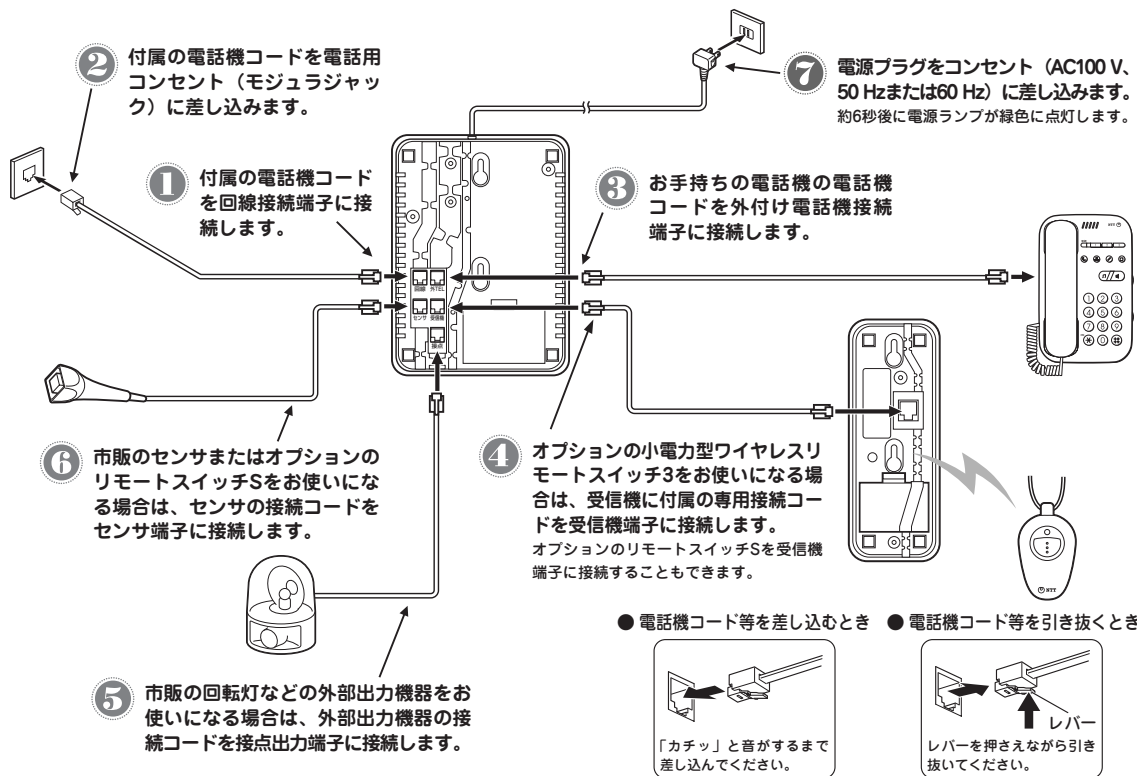


お知らせ

- お使いになる電話機によっては、本商品を電話回線に接続しないと設定が行えない場合があります。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、設定中に電話がかかってきてハンドセットを置いたときは、相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されないことがあります。

接続します

本商品を電話回線に接続し、お手持ちの電話機を本商品に接続します。
お買い求め時は通報モードに設定されています。



お知らせ

- 手順7で、電源プラグをコンセント（AC100 V、50 Hzまたは60 Hz）に差し込んでから電源ランプが緑色に点灯するまでの約6秒間は、本商品は使用できません。
- 電話回線のコンセントがモジュラジャック式でない場合は、工事が必要です。局番なしの116番または当社のサービス取扱所へご相談ください。
- （財）電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
- 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
- 受信機端子には小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3受信機またはリモートスイッチSのどちらか1台を接続してご利用いただけます。
- センサ端子には市販のセンサ（火災センサ／ガスもれセンサなど）またはリモートスイッチSのどちらか1台を接続してご利用いただけます。
- リモートスイッチSをお使いになるときは、通報時の音声メッセージを録音し、通報音声メッセージの設定を「①：録音した音声で通報する」に設定してご利用ください。（P75、82）



お願い

- 設定の際、アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長3 mの電話機コードを目安としてください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- 本商品を接続する電話用コンセント（モジュラジャック）には本商品のみを接続し、他の電話機などをブランチ接続しないでください。
- 本商品に留守番機能付き電話機などを接続する場合は、電話がかかってきたときに留守番機能付き電話機などが応答するように、本商品の着信自動応答回数を留守番機能付き電話機などの着信自動応答回数よりも多い回数に設定してください。（P79）
- 電源を再投入する場合は、電源を切った状態から10秒以上たったあと、電源の再投入を行ってください。再投入の間隔が短いと故障の原因となることがあります。

電話回線の種別を設定します

ご利用になっている電話回線の種別に合わせて、本商品のダイヤル種別を設定します。

ここでは次の作業を行います。

1 電話機の回線種別を「PB」に設定する

2 117（時報）に電話をかけてみる

お手持ちの電話機の回線種別を「PB」に設定する

本商品の設定を行うために、本商品に接続した電話機の回線種別を「プッシュ式（PB）」に設定します。設定方法については、お手持ちの電話機の取扱説明書などを参照してください。
ダイヤル式（DP）の電話機では設定できません。

117（時報）に電話をかけてみる

お買い求め時は通報先1に117（時報）が設定されています。本商品の^①非常を押して、電話がかかるかどうか確認します。ご利用の電話回線がプッシュ式（PB）のときは、電話がかかります。

- ① 本商品の^①非常を押します。
スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、緊急通報」という警報音と警報メッセージが流れ、通報ランプ1が点滅します。
電話がつながると通報ランプ1が点灯し、「緊急通報、緊急通報」という通報メッセージと時報がスピーカから流れます。



- ② ^②とめるを押します。
通報ランプ1が消え、通話が切れます。



次の図の流れに従って、電話がかかることを確認してください。

本商品の(非常)を押して117(時報)に電話をかけてみます。

かかる

かからない

本商品のダイヤル種別を「DP(20PPS)」
に設定します。(P62)

本商品の(非常)を押してもう一度117(時報)に
電話をかけてみます。

「こちらの電話番号を登録します」
(P63)へ進みます。



お知らせ

- 117に電話をかけると通話料金がかかります。
- 本商品に接続した電話機でお話中に(非常)を押したときには、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが本商品に接続した電話機に流れ、通話が切れます。このあと、通報先1(117)に通報を行います。(お買い求め時は通報先1に117が登録されています。)
- 電話がかかっているときに(非常)を押したときには、かかってきた電話に本商品が応答し、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが電話をかけてきた相手の方に流れ、通話が切れます。このあと、通報先1(117)に通報を行います。(お買い求め時は通報先1に117が登録されています。)



お願い

本商品の電話回線の種別を正しく設定しないと、電話がかからなかったり、違う相手にかかったりします。

電話回線の種別を設定します

ダイヤル種別を設定する

電話がかからないときは、本商品のダイヤル種別の設定を行います。

- ① 本商品の **とめる** を押しながら **非常** を押し、**とめる** と **非常** をいっしょに約3秒間押します。
すべての通報ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。
- ② 本商品に接続している電話機のハンドセットを取りあげます。
すべての通報ランプが点灯し、「システムデータを設定します。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ③ 本商品に接続している電話機で **9** **0** **井** と押します。
「システムデータを入力してください」という音声案内が聞こえます。
- ④ 設定値を入力し、最後に **井** を押します。
「**0** : PB」にする場合： **0** **0** **1** **1** **0** **0** **0** **1** **井** と押します。
「**1** : DP (20PPS)」にする場合： **1** **0** **1** **1** **0** **0** **0** **1** **井** と押します。
ダイヤルの種別 (**0**、**1**)
- ⑤ 「プー」という完了音と「設定が完了しました。ダイヤル種別は…です。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえることを確認し、ハンドセットを置きます。
入力した値が間違っているときは、「ププププ」というエラー音と「設定エラーです」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。

ワンポイント

- 設定を中止するには
とめる を押すか、ハンドセットを置きます。スピーカから「プー」という音が流れます。また、何も操作しないまま約30秒過ぎると、「ププププ」というエラー音がスピーカから流れ、設定が中止されます。
- 設定中に電話がかかってきたときは
スピーカから「ピロピロ・・・」という着信音が鳴ります。
 - ・ 電話に出るときは設定を中止してください。
 - ・ 電話に出ないでそのまま設定を続けることもできます。

お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 停電中は、設定を行うことはできません。

お願い

すべての数字を正確に入力してください。正しく入力しないと本商品が正常に動作しない場合があります。

こちらの電話番号を登録します

通報先にこちらの電話番号などを伝えるために、電話番号を登録します。

- ① 本商品の **とめる** を押しながら **非常** を押し、**とめる** と **非常** をいっしょに約3秒間押します。
すべての通報ランプが点滅し、「ブー」という登録音が鳴ります。
- ② 本商品に接続している電話機のハンドセットを取りあげます。
すべての通報ランプが点灯し、「システムデータを設定します。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ③ 本商品に接続している電話機で、**⑦ ② ㊦** と押します。
「システムデータを入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ④ 本商品に接続している電話機で、こちらの電話番号（最大16桁）を市外局番から押し、最後に **㊦** を押します。
例： **① ③ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ㊦**
- ⑤ 「ブー」という完了音と「設定が完了しました。音声IDコードは（例）0312345678です。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえることを確認し、ハンドセットを置きます。
入力した値が間違っているときは、「プププ」というエラー音と「設定エラーです」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。



ワンポイント

- ＊、＃、ハイフンを入力するには
電話機の次のボタンを押して入力します。ハイフンも桁数に含まれます。
＊： **✳ ①** と押します。＊は音声案内の「スター」です。
＃： **✳ ②** と押します。＃は音声案内の「シャープ」です。
ハイフン： **✳ ⑥** と押します。ハイフンは音声案内の「の」です。ハイフンを先頭に入力したり、連続してハイフンを入力することはできません。



お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「ブー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 停電中は、設定を行うことはできません。
- ご利用になる電話回線の電話番号（契約者回線番号）の通知について
 - ・ 本商品は通報先の電話番号の前に「186」を付けてダイヤルしますので、ご利用になる電話回線のご契約（通常通知／通常非通知）にかかわらず、ご利用になる電話回線の電話番号（契約者回線番号）を通報先に通知します。（お買い求め時の設定）
通報先の電話番号の前に「186」を付けないでダイヤルすることもできます。（P78）
 - ・ 本商品に接続した電話機から電話をかけるときの電話番号の通知は、ご利用になる電話回線のご契約（通常通知／通常非通知）や本商品に接続した電話機の設定、および相手の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて指定するかにより決まります。

通報先の電話番号を登録します

通報する相手の電話番号を登録します。通報先は7か所まで登録することができます。

なお、お買い求め時の設定では、通報先1～3の順に通報し、通報先の番号と通報ランプの番号が対応しています。

ここでは次の作業を行います。

1 通報先を登録する

2 お手持ちの電話機の回線種別を、ご利用になっている電話回線の種別に合わせる

3 通報できることを確認する

通報先の電話番号を登録する

通報先1に相手の電話番号を登録します。

- ① 本商品の **とめる** を押しながら **非常** を押し、**とめる** と **非常** をいっしょに約3秒間押します。
すべての通報ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。
- ② 本商品に接続している電話機のハンドセットを取りあげます。
すべての通報ランプが点灯し、「システムデータを設定します。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ③ 本商品に接続している電話機で、設定番号（01～07）を入力し、**Ⓜ** を押します。
通報先1： ① ① 通報先2： ① ② 通報先3： ① ③ 通報4： ① ④
通報先5： ① ⑤ 通報先6： ① ⑥ 通報先7： ① ⑦
例： ① ① **Ⓜ**（通報先1に登録する場合）
「システムデータを入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ④ 本商品に接続している電話機で、電話番号（最大32桁）を市外局番から押し、最後に **Ⓜ** を押します。
例： ① ③ ① ② ③ ④ ① ① ① ① **Ⓜ**
- ⑤ 「プー」という完了音と「設定が完了しました。宛先1番号は（例）0312341111です。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえることを確認し、ハンドセットを置きます。
入力した値が間違っているときは、「ブブブブ」というエラー音と「設定エラーです」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。



お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 停電中は、設定を行うことはできません。
- 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合、携帯電話機やPHS対応電話機が電波の届かない場所にいたり電源が入っていないときは、通信事業者の音声案内などが応答し、通報を完了します。（お買い求め時の設定）
- 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合は、テレコントロール機能を「テレコントロールあり」に設定し、通報が完了したことを確認できるようにしてください。（P37、79）

お手持ちの電話機の回線種別を、ご利用になっている電話回線の種別に合わせる

本商品に接続している電話機の回線種別を、ご利用になっている電話回線の種別に合わせます。設定方法については、お手持ちの電話機の取扱説明書などを参照してください。

通報できることを確認する

登録した通報先 1 の相手に通報できることを確認します。
通報先の相手の方にこれから通報テストをすることをあらかじめ連絡してください。

- ① 本商品の **非常** を押します。
スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、緊急通報」という警報音と警報メッセージが流れ、通報ランプ 1 が点滅します。
通報先に電話がつながると通報ランプ 1 が点灯し、「こちらは（例）0312345678です。緊急通報、緊急通報」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。
- ② 本商品のマイクとスピーカを使って相手の方とお話します。
通報メッセージが終わったあとにお話してください。
- ③ **とめる** を押します。
通報ランプ 1 が消え、通報を終了します。



ワンポイント

- ＊、＃、ポーズ、ハイフンを入力するには
電話機の次のボタンを押して入力します。ポーズとハイフンも桁数に含まれます。
＊： **＊** ① と押します。＊は音声案内の「スター」です。
＃： **＊** ② と押します。＃は音声案内の「シャープ」です。
ポーズ： **＊** ⑤ と押します。ポーズは音声案内の「ピー」です。約3秒間のダイヤル待ち時間が入ります。
ハイフン： **＊** ⑥ と押します。ハイフンは音声案内の「の」です。ハイフンを先頭に入力したり、連続してハイフンを入力することはできません。



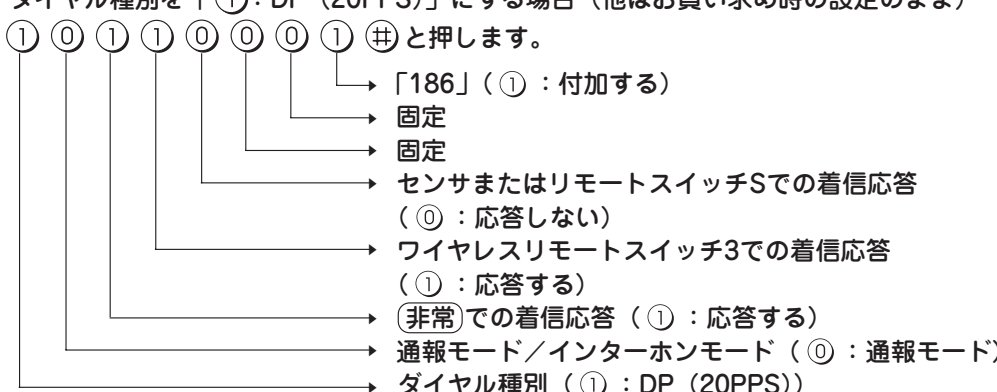
お知らせ

- 本商品に接続した電話機でお話中に **非常** を押したときには、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが本商品に接続した電話機とお話し中の相手の両方に流れ、通話が切れます。このあと、本商品が通報を行います。
- 電話がかかっているときに **非常** を押したときには、かかってきた電話に本商品が応答し、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが電話をかけてきた相手の方に流れ、通話が切れます。このあと、本商品が通報を行います。

システムデータを設定するには

本商品に接続した電話機を使って、各種機能の設定を行うことができます。

設定操作の流れ

- ① 本商品の **とめる** を押しながら **非常** を押し、 **とめる** と **非常** をいっしょに約3秒間押します。**
すべての通報ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。
- ② 本商品に接続している電話機のハンドセットを取りあげます。**
すべての通報ランプが点灯し、「システムデータを設定します。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ③ 2桁の設定番号（01～98）を入力し、**Ⓜ** を押します。**
設定番号については、「システムデータ設定一覧」を参照してください。（☎P71～83）
例：ダイヤル種別を設定する場合は、**⑨ ① Ⓜ** と押します。
「システムデータを入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ④ システムデータを入力し、最後に **Ⓜ** を押します。**
システムデータについては、「システムデータ設定一覧」を参照してください。（☎P71～83）
例：ダイヤル種別を「**①**：DP（20PPS）」にする場合（他はお買い求め時の設定のまま）
① ① ① ① ① ① ① Ⓜ と押します。

 - 「186」（**①**：付加する）
 - 固定
 - 固定
 - センサまたはリモートスイッチSでの着信応答（**①**：応答しない）
 - ワイヤレスリモートスイッチ3での着信応答（**①**：応答する）
 - 非常での着信応答（**①**：応答する）
 - 通報モード／インターホンモード（**①**：通報モード）
 - ダイヤル種別（**①**：DP（20PPS））
- ⑤ ハンドセットから聞こえる音声案内で設定内容を確認し、ハンドセットを置きます。**
入力した値が間違っているときは、「プププ」というエラー音と「設定エラーです」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。
例：ダイヤル種別の設定が完了した場合
「設定が完了しました。ダイヤル種別は20PPS…です。設定番号を入力してください」



ワンポイント

●続けて設定するには

手順5で、設定内容の音声案内のあとに、「設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえますので、手順3から操作してください。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。

●操作を間違えたときは

〔とめる〕 を押し、最初からやり直してください。

●設定を中止するには

〔とめる〕 を押すか、ハンドセットを置きます。スピーカから「ブー」という音が流れます。また、何も操作しないまま約30秒過ぎると、「プブブブ」というエラー音がスピーカから流れ、設定が中止されます。

●設定中に電話がかかってきたときは

スピーカから「ピロピロ・・・」という着信音が鳴ります。

- ・電話に出るときは設定を中止してください。
- ・電話に出ないでそのまま設定を続けることもできます。

●現在の設定を確認するには

手順3で2桁の設定番号（01～98）を入力し、**〔＊〕** を押します。設定内容の音声案内と「設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。

●設定番号ごとに設定値を初期化するには

手順4で、最初に**〔＃〕** を押すと、「ブー」という完了音と「初期化しました」という音声案内がハンドセットから聞こえ、設定中の項目を初期化することができます。

●すべての設定値を初期化するには（☎P76）



お知らせ

- 本商品をご利用になる環境の変更などにより設定を変更する場合は、設定を行う前に必ず初期化を行ってください。（☎P76）
- お使いになる電話機によっては、本商品を電話回線に接続しないと設定が行えない場合があります。
- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「ブー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 停電中は、設定を行うことはできません。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、設定中に電話がかかってきてハンドセットを置いたときは、相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されないことがあります。
- 周囲の雑音により正常に動作しないことがあります。

システムデータを設定するには

システムデータ項目一覧表

● 通報先の登録

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P01	通報宛先1	117	P71
P02	通報宛先2	なし	P71
P03	通報宛先3	なし	P71
P04	通報宛先4	なし	P71
P05	通報宛先5	なし	P71
P06	通報宛先6	なし	P71
P07	通報宛先7	なし	P71

● 通報順序、通報回数、通報終了タイミングの設定

設定番号	項目		お買い求め時の設定	参照ページ
P21	緊急通報	通報順序	123：通報先1→2→3	P72
		通報回数	3：3回	
		通報終了タイミング	※ 3：全宛先に通報して終了する	
P23	ペンダントによる通報	通報順序	123：通報先1→2→3	P72
		通報回数	3：3回	
		通報終了タイミング	※ 3：全宛先に通報して終了する	
P24	センサ異常通報	通報順序	123：通報先1→2→3	P73
		通報回数	3：3回	
		通報終了タイミング	※ 3：全宛先に通報して終了する	
P28	電池切れ通報	通報順序	123：通報先1→2→3	P73
		通報回数	3：3回	
		通報終了タイミング	※ 3：全宛先に通報して終了する	
P32	停電／復電通報	通報順序	123：通報先1→2→3	P73
		通報回数	3：3回	
		通報終了タイミング	※ 3：全宛先に通報して終了する	



お知らせ

設定する項目や設定内容／システムデータと音声案内は一致しない場合があります。

● 相手を呼び出す時間、警報音モード、ハンズフリー通話、警報音の自動停止の設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P40	呼び出し時間	6：60秒	☞P74
	緊急通報	0：ランプ点滅+警報音あり	
	ペンダントによる通報	0：ランプ点滅+警報音あり	
	センサ異常通報	0：ランプ点滅+警報音あり	
	電池切れ通報	0：ランプ点滅+警報音あり	
	停電／復電通報	0：ランプ点滅+警報音あり	
	ハンズフリー通話のオン／オフ	1：オン（ハンズフリー通話になる）	
	メッセージの停止	0：しない	

● 通報音声メッセージの録音

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P41	緊急通報の音声メッセージの録音	なし	☞P75
P42	ペンダント通報の音声メッセージの録音	なし	☞P75
P43	センサ異常通報の音声メッセージの録音	なし	☞P75
P44	電池切れ通報の音声メッセージの録音	なし	☞P75

● 設定値の初期化

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P48	全システムデータの初期化	—	☞P76

● こちらの電話番号の登録

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P72	こちらの電話番号（音声IDコード）	なし	☞P77

● ダイヤル種別、着信応答動作、「186」付加の設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P90	ダイヤル種別	0：PB	☞P78
	通報モード／インターホンモード	0：通報モード	
	〔非常〕での着信応答	1：応答する	
	ペンダントでの着信応答	1：応答する	
	センサでの着信応答	0：応答しない	
	「186」付加	1：付加する	

● 着信自動応答の設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P91	着信自動応答	1：応答する	☞P79
	着信自動応答回数	20：20回	

システムデータを設定するには

● 通報方式の設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P92	メッセージ回数	1：2回	☞P79
	優先通報による強制切断メッセージ	1：メッセージあり	
	テレコントロール機能	0：テレコントロールなし	

● 通報の有無、接点出力方式の設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P93	(非常)による通報	1：通報する	☞P80
	ペンダントによる通報	1：通報する	
	センサ異常による通報	1：通報する	
	電池切れ通報	1：通報する	
	停電／復電通報	1：通報する	
	接点出力方式	0：通報起動から通報完了まで出力	

● 通報オプションタイマの設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P94	通報遅延時間	0：通報遅延しない	☞P81
	ハンドフリー通話保持時間	3：3分	

● センサの設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P95	センサ検出	0：メーク	☞P81

● 通報音声メッセージの設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P96	緊急通報メッセージ	0：「緊急通報」と通報する	☞P82
	ペンダント通報メッセージ	0：「緊急通報 ペンダント」と通報する	
	センサ異常通報メッセージ	0：「センサー異常」と通報する	
	電池切れ通報メッセージ	0：「電池切れです」と通報する	

● 優先通報選択の設定

設定番号	項目	お買い求め時の設定	参照ページ
P98	緊急通報	1：優先する	☞P83
	ペンダントによる通報	1：優先する	
	センサ異常通報	1：優先する	
	電池切れ通報	0：優先しない	
	停電／復電通報	0：優先しない	

システムデータ設定一覧

通報先の登録

通報先の電話番号を登録します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P01 (例) 0312341111	通報宛先1	通報先1の電話番号を設定する (最大32桁) ① ~ ⑨、＊、＃、ポーズ、ハイフン	117	
P02 (例) 0312342222	通報宛先2	通報先2の電話番号を設定する (最大32桁) ① ~ ⑨、＊、＃、ポーズ、ハイフン	なし	
P03 (例) 0312343333	通報宛先3	通報先3の電話番号を設定する (最大32桁) ① ~ ⑨、＊、＃、ポーズ、ハイフン	なし	
P04 (例) 0312344444	通報宛先4	通報先4の電話番号を設定する (最大32桁) ① ~ ⑨、＊、＃、ポーズ、ハイフン	なし	
P05 (例) 0312345555	通報宛先5	通報先5の電話番号を設定する (最大32桁) ① ~ ⑨、＊、＃、ポーズ、ハイフン	なし	
P06 (例) 0312346666	通報宛先6	通報先6の電話番号を設定する (最大32桁) ① ~ ⑨、＊、＃、ポーズ、ハイフン	なし	
P07 (例) 0312347777	通報宛先7	通報先7の電話番号を設定する (最大32桁) ① ~ ⑨、＊、＃、ポーズ、ハイフン	なし	

ワンポイント

● ＊、＃、ポーズ、ハイフンを入力するには

電話機の次のボタンを押して入力します。ポーズとハイフンも桁数に含まれます。

＊: (＊) ① と押します。＊は音声案内の「スター」です。

＃: (＊) ② と押します。＃は音声案内の「シャープ」です。

ポーズ: (＊) ⑤ と押します。ポーズは音声案内の「ピー」です。約3秒間のダイヤル待ち時間が入ります。

ハイフン: (＊) ⑥ と押します。ハイフンは音声案内の「の」です。ハイフンを先頭に入力したり、連続してハイフンを入力することはできません。

STOP お願い

- 電話番号は必ず市外局番から登録してください。
- 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合、携帯電話機やPHS対応電話機が電波の届かない場所にいるときや電源が入っていないときは、通信事業者の音声案内などが応答し、通報を完了します。(お買い求め時の設定)
- 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合は、テレコントロール機能を「テレコントロールあり」に設定し、通報が完了したことを確認できるようにしてください。(P37、79)

システムデータ設定一覧

通報順序、通報回数、通報終了タイミングの設定

各通報について、通報順序、通報回数、通報終了のタイミングを設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

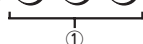
設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P21 (緊急通報) 1 2 3 * 5 3 * 3 ① ② ③ 固定	① 通報順序	通報する順序を設定する (最大3桁) ① ~ ⑦ : 通報宛先1~7 (省略) : 前回設定値から変更なし	123 3*3	
	② 通報回数	通報回数を設定する ① : 無限 ① ~ ⑨ : 1~9回		
	③ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する (*) ③ : 全宛先に通報して終了する (省略) : 一宛先に通報して終了する		
P23 (ペンダント による通報) 1 2 3 * 5 3 * 3 ① ② ③ 固定	① 通報順序	通報する順序を設定する (最大3桁) ① ~ ⑦ : 通報宛先1~7 (省略) : 前回設定値から変更なし	123 3*3	
	② 通報回数	通報回数を設定する ① : 無限 ① ~ ⑨ : 1~9回		
	③ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する (*) ③ : 全宛先に通報して終了する (省略) : 一宛先に通報して終了する		



ワンポイント

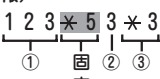
● 通報の順序を設定するには

<例> 通報先1→通報先7→通報先3の順で通報する場合
最初の3桁を ① ⑦ ③ と押します。



● 通報順序の設定を前回の設定値と同じにするには

1桁目で (*) ⑤ と押すと、通報順序は前回の設定のままになります。

設定番号 (お買い求め時の設定 ^{*1})	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定 ^{*1}	ユーザ 設定値 ^{*2}
P24 (センサ異常 通報) 	① 通報順序	通報する順序を設定する (最大3桁) ① ～ ⑦ : 通報宛先1～7 (省略) : 前回設定値から変更なし	123 3*3	
	② 通報回数	通報回数を設定する ① : 無限 ① ～ ⑨ : 1～9回		
	③ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する (※ ③) : 全宛先に通報して終了する (省略) : 一宛先に通報して終了する		
P28 (電池切れ通 報) 	① 通報順序	通報する順序を設定する (最大3桁) ① ～ ⑦ : 通報宛先1～7 (省略) : 前回設定値から変更なし	123 3*3	
	② 通報回数	通報回数を設定する ① : 無限 ① ～ ⑨ : 1～9回		
	③ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する (※ ③) : 全宛先に通報して終了する (省略) : 一宛先に通報して終了する		
P32 (停電／復電 通報) 	① 通報順序	通報する順序を設定する (最大3桁) ① ～ ⑦ : 通報宛先1～7 (省略) : 前回設定値から変更なし	123 3*3	
	② 通報回数	通報回数を設定する ① : 無限 ① ～ ⑨ : 1～9回		
	③ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する (※ ③) : 全宛先に通報して終了する (省略) : 一宛先に通報して終了する		

システムデータ設定一覧

相手を呼び出す時間、警報音モード、ハンドフリー通話、警報音の自動停止の設定

相手を呼び出す時間、各通報の警報音モード、ハンドフリー通話のオン／オフ、警報音の自動停止を設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P40 (6 0 0 0 0 0 1 0) ①②③④ ⑤⑥⑦⑧	① 呼び出し時間	相手を呼び出す時間を設定する ①～⑥：10～60秒	6	
	② 緊急通報	非常通報の警報音モードを設定する ①：ランプ点滅＋警報音あり ②：ランプ点滅のみ ③：無音／無点灯	0	
	③ ペンダントによる通報	非常通報の警報音モードを設定する ①：ランプ点滅＋警報音あり ②：ランプ点滅のみ ③：無音／無点灯	0	
	④ センサ異常通報	非常通報の警報音モードを設定する ①：ランプ点滅＋警報音あり ②：ランプ点滅のみ ③：無音／無点灯	0	
	⑤ 電池切れ通報	通報の警報音モードを設定する ①：ランプ点滅＋警報音あり ②：ランプ点滅のみ ③：無音／無点灯	0	
	⑥ 停電／復電通報	通報の警報音モードを設定する ①：ランプ点滅＋警報音あり ②：ランプ点滅のみ ③：無音／無点灯	0	
	⑦ ハンドフリー通話のオン／オフ	ハンドフリー通話になるかどうかを設定する ①：オフ（ハンドフリー通話にならない） ②：オン（ハンドフリー通話になる）	1	
	⑧ メッセージの停止	警報音を自動停止するかどうかを設定する ①：しない ②：する（通報開始後約10秒間鳴り、停止する）	0	

通報音声メッセージの録音

通報時の音声メッセージを録音します。録音が終了すると、「プー」という完了音のあとに録音内容が再生されますので、必ず録音内容を確認してください。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P41	緊急通報の音声メッセージの録音	音声を録音する（約20秒）	なし	
P42	ペンダント通報の音声メッセージの録音	音声を録音する（約20秒）	なし	
P43	センサ異常通報の音声メッセージの録音	音声を録音する（約20秒）	なし	
P44	電池切れ通報の音声メッセージの録音	音声を録音する（約20秒）	なし	



ワンポイント

● 音声を録音するには

音声を録音するときは、次のように操作します。

- ① 本商品の **（とめる）** を押しながら **（非常）** を押し、**（とめる）** と **（非常）** をいっしょに約3秒間押します。すべての通報ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。
- ② 本商品に接続した電話機のハンドセットを取りあげます。すべての通報ランプが点灯し、「システムデータを設定します。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ③ 設定番号（41～44）を入力し、**（⊕）** を押します。
- ④ 「（通報の種類）通報の録音を開始します。ピーという音のあとにメッセージをどうぞ」という音声案内のあと、ピーという音が聞こえます。
- ⑤ 音声メッセージを録音します。
- ⑥ **（⊕）** を押します。**（⊕）** を押さないときは、録音開始から約20秒たつと自動的に録音を終了します。「プー」という完了音のあとに録音内容が再生されますので、必ず録音内容を確認してください。Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順①で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。

● 録音を中止するには

（とめる） を押すか、電話機のハンドセットを置きます。録音中および前に録音したメッセージは消去されます。



お知らせ

- 新しいメッセージを録音すると、前のメッセージは上書きされます。
- 音声メッセージの録音中に停電になったときは、録音中および前に録音したメッセージは消去されます。停電が復旧したあとに、もう一度録音をやり直してください。
- 通報音声メッセージの設定で「録音した音声で通報する」を選択していても、音声録音されていない場合は、音声合成メッセージが送出されます。
- 停電中は、録音を行うことはできません。



お願い

録音中に電話がかかってきたときは、呼出音が録音され録音内容が途切れる場合がありますので、録音を中止し、通話が終わったあとに録音し直してください。

システムデータ設定一覧

設定値の初期化

すべての設定値をお買い求め時の設定に戻します。

設定番号	項目	設定内容／システムデータ
P48	全システムデータの初期化	全設定値を初期化する ①：初期化しない ②：初期化する



ワンポイント

●電話機を使って本商品を初期化するには

電話機の操作で初期化するには、次のように操作します。

- ① 本商品の(とめる)を押しながら(非常)を押し、(とめる)と(非常)をいっしょに約3秒間押します。
すべての通報ランプが点滅し、「ブー」という登録音が鳴ります。
- ② 本商品に接続した電話機のハンドセットを取りあげます。
すべての通報ランプが点灯し、「システムデータを設定します。設定番号を入力してください」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- ③ ④ ⑧ ⑨ と押します。
- ④ 「すべてを初期化します。初期化は ① ⑨ を、中止は ② ⑨ を入力してください」という音声案内が聞こえます。
- ⑤ ① ⑨ を押すと、初期化を開始します。中止するときは ② ⑨ を押します。
- ⑥ すべての通報ランプが点滅します。
- ⑦ 初期化が終了すると、「ブー」という完了音と「すべてを初期化しました。設定番号を入力してください」という音声案内が聞こえ、通報ランプが点灯します。
 - ・Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順①で「ブー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
 - ・初期化を中止したときは「初期化中止しました。プブブ。設定番号を入力してください」という音声案内が聞こえ、設定番号入力待ちになります。

●本商品のボタン操作で初期化するには

本商品のボタン操作で設定値を初期化することもできます。

- ① 本商品の回線接続端子に接続した電話機コードを抜きます。
- ② 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ③ オプションの電池パックを取り付けているときは、電池パックのコネクタを抜きます。
- ④ (とめる)、(非常)をいっしょに押したまま電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑤ 「すべてを初期化します。非常ボタンを入力してください」という音声案内が聞こえます。
- ⑥ (非常)を押すと、初期化を開始します。中止するときは(とめる)を押します。
- ⑦ すべての通報ランプが点滅します。
- ⑧ 初期化が終了すると、「ブー」という完了音が聞こえ、通報ランプが消灯します。
- ⑨ オプションの電池パックを取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ⑩ 電池パックのコネクタを差し込み口に差し込み、電池パックを取り付けます。
- ⑪ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑫ 本商品の回線接続端子に電話機コードを差し込みます。

こちらの電話番号の登録

通報先にこちらの電話番号を伝えるために、電話番号を登録します。

*：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定	ユーザ設定値*
P72 (例) 0312345678	こちらの電話番号 (音声IDコード)	こちらの電話番号を登録する (最大16桁) ①～⑨、＊、＃、ハイフン	なし	



ワンポイント

● ＊、＃、ハイフンを入力するには

電話機の次のボタンを押して入力します。ハイフンも桁数に含まれます。

＊：(＊) ① と押します。＊は音声案内の「スター」です。

＃：(＊) ② と押します。＃は音声案内の「シャープ」です。

ハイフン：(＊) ⑥ と押します。ハイフンは音声案内の「の」です。ハイフンを先頭に入力したり、連続してハイフンを入力することはできません。



お願い

電話番号は必ず市外局番から登録してください

システムデータ設定一覧

ダイヤル種別、着信応答動作、「186」付加の設定

使用する電話回線のダイヤル種別、着信応答動作、ダイヤルの先頭に「186」を付けるかどうかを設定します。

本商品は通報先の電話番号の前に「186」を付けてダイヤルしますので（お買い求め時の設定）、ご利用になる電話回線のご契約（通常通知／通常非通知）にかかわらず、ご利用になる電話回線の電話番号（契約者回線番号）を通報先に通知します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P90 (0 0 1 1 0 0 0 1) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 固定設定	① ダイヤル種別	電話回線の種別を設定する ⑦：PB ⑧：DP (20PPS)	0	
	② 通報モード／インターホンモード	モードを設定する ⑦：通報モード ⑧：インターホンモード	0	
	③ (非常)での着信応答	インターホンモードのとき、(非常)を押して応答するかどうかを設定する ⑦：応答しない ⑧：応答する	1	
	④ ペンダントでの着信応答	インターホンモードのとき、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3のペンダント(送信機)で応答するかどうかを設定する ⑦：応答しない ⑧：応答する	1	
	⑤ センサでの着信応答	インターホンモードのとき、センサまたはリモートスイッチSで応答するかどうかを設定する ⑦：応答しない ⑧：応答する	0*	
	⑥ 「186」付加	発信するとき、先頭に「186」を付加するかどうかを設定する ⑦：付加しない ⑧：付加する	1	

※お買い求め時は、センサでの着信応答は「⑦：応答しない」に設定されています。

センサ端子にリモートスイッチSを接続し、リモートスイッチSにより着信に応答する場合は、「⑧：応答する」に設定してご利用ください。



お知らせ

- インターホンモードでご利用のときは、「② 通報モード／インターホンモード」で「⑧：インターホンモード」に設定し、③～⑤で着信応答の動作を設定してください。③～⑤の設定は、インターホンモードでのみ有効です。
- 「③ (非常)での着信応答」、「④ ペンダントでの着信応答」、「⑤ センサでの着信応答」を「⑧：応答する」に設定した場合は、電話がかかってきたときに、(非常)を押す／ペンダントの通報ボタンを押す／センサが異常を感知すると本商品が電話に応答し、緊急通報は行いません。

着信自動応答の設定

着信自動応答をするかどうかの設定と、応答までに鳴らす呼出音の回数を設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P91 (1 0 2 0 0 0 0 0) ① 固 ② 定 定 固定	① 着信自動応答	着信自動応答するかどうかを設定する ① ①：応答しない ① ①：応答する	1	
	② 着信自動応答回数	応答までに呼出音を鳴らす回数を設定する ① ① ①：鳴らさない ① ① ①～① ①：1～10回 ② ① ①：20回	20	



お知らせ

「①着信自動応答」を「①：応答する」に設定したときに「②着信自動応答回数」の設定が有効になります。

通報方式の設定

通報方式について設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P92 (0 0 0 1 0 0 1 0) 固 固 固 ① 固 固 ② ③ 定 定 定 定 定 定 定	① メッセージ回数	メッセージを繰り返す回数を設定する ① ①：1回 ① ①：2回 ② ①：3回	1	
	② 優先通報による強制切断 メッセージ	優先通報による強制切断メッセージの有無 を設定する ① ①：メッセージなし ① ①：メッセージあり	1	
	③ テレコントロール機能	テレコントロールを使用するかどうかを 設定する ① ①：テレコントロールなし ① ①：テレコントロールあり	0	

システムデータ設定一覧

通報の有無、接点出力方式の設定

通報の有無と、外部出力機器への接点出力について設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P93 (1 1 1 0 1 0 1 0) ① ② ③ 固 ④ 固 ⑤ ⑥ 定 定	① (非常) による通報	(非常) で通報するかどうかを設定する ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① : 通報しない ② : 通報する	1	
	② ペンダントによる通報	小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3で 通報するかどうかを設定する ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① : 通報しない ② : 通報する	1	
	③ センサ異常による通報	センサによって通報するかどうかを設定する ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① : 通報しない ② : 通報する	1	
	④ 電池切れ通報	電池切れのときに通報するかどうかを設定 する ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① : 通報しない ② : 通報する	1	
	⑤ 停電／復電通報	停電時や停電の復旧時に通報するかどうか を設定する ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① : 通報しない ② : 通報する	1	
	⑥ 接点出力方式	外部出力機器への接点出力方式について設定 する ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① : 通報起動から通報完了まで出力 ② : 通報起動で出力を開始し、(とめる) を 押すと出力を停止する	0	

通報オプションタイマの設定

通報遅延、ハンドフリー通話保持時間など、通報に関するタイマを設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P94 (0 000 000 3) ① 固定 ②	① (非常)、ペンダント、センサ、停電通報遅延時間	(非常)、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3、センサ、停電による通報で遅延時間を設定する ①：通報遅延しない ②：通報遅延する (遅延時間は20秒)	0	
	② ハンドフリー通話保持時間	ハンドフリー通話の保持時間を設定する ①：無限 ②～⑨：1～9分	3	



お知らせ

「⑦ハンドフリー通話のオン／オフ」(P74)を「①：オン(ハンドフリー通話になる)」に設定したときに「②ハンドフリー通話保持時間」の設定が有効になります。



お願い

以下のような場合、周囲が騒がしいときは、相手の方が電話を切っても通話が切れないことがありますので、ハンドフリー通話保持時間は「1～9分」に設定し、「無限」は設定しないでください。

- ・「119」やフリーダイヤルなどへ通報した場合
- ・かかってきた電話に自動応答した場合
- ・かかってきた電話に応答した場合(インターホンモード)

センサの設定

センサの検出方法と使用用途を設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P95 (0 000 000 0) ① 固定	① センサ検出	センサの検出方法と使用用途を設定する ①：メーク ②：ブレーク	0	

システムデータ設定一覧

通報音声メッセージの設定

通報時の音声メッセージを設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容/システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P96 (0 0 0 0 0 0 0 0) ① 固 ② ③ ④ 固 定 定	① 緊急通報メッセージ	緊急時の音声メッセージを設定する ⑦：「緊急通報」と通報する ①：録音した音声で通報する ⑧：メッセージなし	0	
	② ペンダント通報メッセージ	小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3で 通報するときの音声メッセージを設定する ⑦：「緊急通報 ペンダント」と通報する ①：録音した音声で通報する ⑧：メッセージなし	0	
	③ センサ異常通報メッセージ	センサによって通報するときの音声メッセー ジを設定する ⑦：「センサー異常」と通報する ①：録音した音声で通報する ⑧：メッセージなし	0	
	④ 電池切れ通報メッセージ	電池切れを通報するときの音声メッセージを 設定する ⑦：「電池切れです」と通報する ①：録音した音声で通報する	0	

優先通報選択の設定

使用している回線を強制切断し、通報を優先させるように設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態で値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (お買い求め時の設定*1)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め 時の設定*1	ユーザ 設定値*2
P98 (1 1 1 0 0 0 0) ①②③ 固定 ④⑤	① 緊急通報	緊急時の通報を優先するかどうかを設定する ①: 優先しない ②: 優先する	1	
	② ペンダントによる通報	小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3での通報を優先するかどうかを設定する ①: 優先しない ②: 優先する	1	
	③ センサ異常通報	センサによる通報を優先するかどうかを設定する ①: 優先しない ②: 優先する	1	
	④ 電池切れ通報	電池切れの通報を優先するかどうかを設定する ①: 優先しない ②: 優先する	0	
	⑤ 停電／復電通報	停電時や停電からの復旧時の通報を優先するかどうかを設定する ①: 優先しない ②: 優先する	0	



ワンポイント

- 「①: 優先しない」に設定した場合は緊急通報優先機能（P27）は働きません。
 - ・ 通報モード（P28）でご利用の場合
本商品に接続した電話機でお話中に緊急通報が行われたときは、通話終了後に通報を行います。電話がかかってきているときに緊急通報が行われた場合は、電話の呼び出しが止まったあと、またはかかってきた電話の通話が終わったあとに通報を行います。
 - ・ インターホンモード（P30）でご利用の場合
本商品に接続した電話機でお話中に緊急通報が行われたときは、通話終了後に通報を行います。



お知らせ

お買い求め時の設定での通報は、以下となります。

- ・ 「①緊急通報」、「②ペンダントによる通報」、「③センサ異常通報」中に、他の2つによる緊急通報があった場合は、最初の通報が優先され、他の2つによる通報は行いません。
- ・ 「①緊急通報」、「②ペンダントによる通報」または「③センサ異常通報」中に、「④電池切れ通報」、「⑤停電／復電通報」があった場合は、「④電池切れ通報」、「⑤停電／復電通報」は待ち受けとなり、「①緊急通報」、「②ペンダントによる通報」または「③センサ異常通報」が終了したあとに「④電池切れ通報」、「⑤停電／復電通報」を行います。
- ・ 「④電池切れ通報」、「⑤停電／復電通報」中に、「①緊急通報」、「②ペンダントによる通報」、「③センサ異常通報」があった場合は、「④電池切れ通報」または「⑤停電／復電通報」は中断、待ち受けとなり、「①緊急通報」、「②ペンダントによる通報」、「③センサ異常通報」を行います。
「④電池切れ通報」、「⑤停電／復電通報」は、「①緊急通報」、「②ペンダントによる通報」、「③センサ異常通報」が終了したあとに、通報が中断された通報先への通報から再開します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、次の点をご確認ください。

あんしんSⅢのトラブル

	こんなとき	確認してください	対 処	参照ページ
動作	電源ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグを確実に差し込んでください	☞P59
	電源プラグをコンセントに差し込んですぐに使用できない	電源プラグをコンセントに差し込んでから電源ランプが緑色に点灯するまでの約6秒間は、本商品は使用できません	故障ではありません	☞P59
設定	設定ができない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？ または、停電中ではありませんか？	停電中は設定を行うことはできません	☞P62、63、64、67
		本商品を電話回線に接続していますか？	故障ではありません お使いになる電話機によっては、本商品を電話回線に接続しないと設定が行えない場合があります	☞P58、67
		電話機に、Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をお使いですか？	故障ではありません (とめる)と(非常)をいっしょに約3秒間押し、「ブー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください	☞P62、63、64、67
通報	通報ができない	電話機コードが正しく接続されていますか？	正しく接続してください	☞P59
		ダイヤル種別は正しく設定されていますか？	ご利用の電話回線を調べ、ダイヤル種別を正しく設定してください	☞P60～62
		通報先の電話番号は登録されていますか？	登録してください	☞P64
	小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3（オプション）での通報ができない	本商品と小電力型ワイヤレスリモートスイッチ3受信機が、受信機に付属の専用接続コードで正しく接続されていますか？	正しく接続してください	☞P59
	リモートスイッチS（オプション）やセンサ（オプション）での通報ができない	リモートスイッチSやセンサは正しく接続されていますか？	正しく接続してください	☞P59
	停電中（本商品に電池パックを取り付けていない場合）、(非常)やリモートスイッチS（オプション）で通報できない	ご利用の電話回線によっては、(非常)やリモートスイッチSを長めに押す必要があります	通報を始めるまで長めに押してください	☞P49
	停電中（本商品に電池パックを取り付けていない場合）、通報時の「ピーピーピーピー・・・」という警報音が聞こえるまでに時間がかかる	ご利用の電話回線によっては、通報時の「ピーピーピーピー・・・」という警報音が聞こえるまでに時間がかかることがあります	故障ではありません	☞P49
	停電中（本商品に電池パックを取り付けていない場合）、通報時の「ピーピーピーピー・・・」という警報音の音量が小さい	ダイヤル種別を「DP（20PPS）」に設定してお使いの場合は、通報時の「ピーピーピーピー・・・」という警報音の音量が小さくなる場合があります	故障ではありません	☞P49
	停電中（本商品に電池パックを取り付けていない場合）、通報の繰り返しを行わない	通報中に電話機コードを抜いていませんか？	通報中に電話機コードを抜いた場合は、通報は停止し、通報の繰り返しは行いません	☞P48、49
	停電していないのに「停電です」というメッセージが送出される	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	正しく接続してください	☞P59
	停電が復旧したときの通報をしない	停電になったときの通報に通報先が応答しましたか？	停電が復旧したときの通報は停電になったときの通報に対して通報先が1か所でも応答した場合に行われます	☞P50、52

	こんなとき	確認してください	対 処	参照ページ
通 報	通報音声メッセージに呼出音が録音されている	録音中に電話がかかってきましたか？	通報音声メッセージを録音し直してください	☞P75
	警報音や警報メッセージが途切れる	通報終了後または設定終了後すぐに通報を行いますでしたか？	故障ではありません 通報終了後約3秒以内や設定終了後約3秒以内に通報を行うと、警報音や警報メッセージが途切れることがあります	—
	警報音が途切れ、すこしあとに警報音と警報メッセージが流れる	Lモードをご利用ではありませんか？	故障ではありません Lモードをご利用の場合に、Lモードゲートウェイにメッセージがあるときは、通報を行うと、警報音が途切れ、すこしあとに警報音と警報メッセージが流れます	—
	停電中（本商品に電池パックを取り付けている場合）、通報時にハンドフリー通話ができない	電池パックの電池残量がなくなっていますか？ 電池パックの電池残量がなくなったあとと停電が復旧したときに、10時間以上充電しましたか？ 電池パックを取り付けたときや交換したときに、10時間以上充電しましたか？	故障ではありません 充電してください 以下のときは、必ず10時間以上充電してください ・電池パックの電池残量がなくなったあとと停電が復旧したとき ・電池パックを取り付けたときや交換したとき 10時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しません	☞P52 ☞P51、52
	呼出音が小さい（インターホンモード）	（音量）つまみが「小」になっていませんか？	（音量）つまみを「中」または「大」にしてください	☞P31、33
電話がかかってくるとき	かかってきた電話が切れる	電話がかかってくるのとほぼ同時に通報を行いますでしたか？ 優先通報選択の設定が「優先する」に設定されていませんか？	電話がかかってくるのと通報が重なったときは、通報が優先されます 優先通報選択の設定が「優先する」に設定されている場合は、電話がかかってくるときに通報を行うと通報が優先されます	— ☞P27、83
	電話機の通話が切れる	優先通報選択の設定が「優先する」に設定されていませんか？	優先通報選択の設定が「優先する」に設定されている場合は、通話中に通報を行うと通報が優先されます	☞P27、83
本商品に接続した電話機	電話機が使えない	通報中ではありませんか？ 本商品のシステムデータを設定したあと、ハンドセットを置いてからすぐにハンドセットを取りあげていませんか？	通報終了後お使いください ハンドセットを置き、約3秒待ってからハンドセットを取りあげてください	☞P26 ☞P26
	かかってきた電話を受けられない	本商品のシステムデータを設定したあと、ハンドセットを置いてからすぐにハンドセットを取りあげていませんか？	ハンドセットを置き、約3秒待ってからハンドセットを取りあげてください	☞P26
	相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されない	設定中ではありませんか？	故障ではありません ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、設定中に電話がかかってくるハンドセットを置いたときは、相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されないことがあります	☞P58、67
	相手の声が小さい	（音量）つまみが「小」になっていませんか？ 本商品から離れすぎていませんか？ スピーカからの音が大きい、または本商品を壁に向けて置いているため、ハウリングを防ぐために自動的にスピーカの音が小さくなっていませんか？	（音量）つまみを「中」または「大」にしてください 本商品との距離は、約50 cmを目安としてお話しください （音量）つまみを「中」または「小」にしてスピーカの音量を下げるか、本商品を壁から離してください	☞P29、31、33 — ☞P29、31、33
ハンドフリー通話				

故障かな？と思ったら

	こんなとき	確認してください	対 処	参照ページ
ハンドフリー通話	相手の声が途切れる	双方で同時に話していませんか？	故障ではありません 相手の方が話し終えてから話し始めてください	☞P29、31、33
		室内がざわついていませんか？	周囲を静かにしてご利用ください	—
	相手に伝わる声が小さい	本商品から離れすぎではありませんか？	マイクとの距離は、約50 cmを目安としてお話しください	—
	「キーン」というハウリング音が入る	本商品に手や顔を近づけていませんか？	手や顔を遠ざけてください	—
	相手が電話を切っても通話が切れない	室内がざわついていませんか？	以下のような場合、周囲が騒がしいときは、相手の方が電話を切っても通話が切れないことがあります (とめる)を押して通話を切るか、ハンドフリー通話保持時間を1～9分に設定してください ・「119」やフリーダイヤルなどへ通報した場合 ・かかってきた電話に自動応答した場合 ・かかってきた電話に応答した場合（インターホンモード）	☞P81
テレコントロール	本商品が電話に应答する前に本商品に接続した留守番電話機が应答してしまう	本商品の着信自動応答回数が、留守番機能付き電話機などの着信自動応答回数よりも多い回数に設定されていませんか？	電話がかかってきたときに本商品が应答するように、本商品の着信自動応答回数を留守番機能付き電話機などの着信自動応答回数より少ない回数に設定してください	☞P40、79
	テレコントロールができない	通報先でダイヤル式（DP）の電話機をお使いではありませんか？	プッシュ式（PB）またはプッシュ信号を送ることができる電話機でテレコントロールを行ってください	☞P40
		停電時（本商品に電池パックを取り付けていない場合）に、通報メッセージや音声案内が流れているときに操作していませんか？	停電時（本商品に電池パックを取り付けていない場合）は、通報メッセージや音声案内が流れているときのテレコントロールはできません 通報メッセージや音声案内が終わったあとにテレコントロールを行ってください	☞P40
	通報が完了しない	「テレコントロールあり」に設定されていませんか？	「テレコントロールあり」に設定した場合、以下のようなときは应答確認の信号が送られてこないため、通報は完了しません ・通報先が留守番電話などで应答したとき ・通報先に携帯電話機やPHS対応電話機を登録していて、携帯電話機やPHS対応電話機が電波の届かない場所にいる、または電源が入っていない状態にあり、通信事業者の音声案内などが应答したとき	☞P37
電池パック	電池パックが充電されない	電源プラグをコンセントに差し込んだまま電池パックを取り付けていませんか？	電池パックを取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜き、電池パックを取り付けたあと、電源プラグをコンセントに差し込んでください	☞P54、55
その他	(音量)つまみを「中」や「小」にしても音量が大きい	(音量)つまみを「大」と「中」の間や「中」と「小」の間にしていますか？	(音量)つまみを「中」または「小」の位置に合わせてください	☞P21
	本体があたたかい	内部に発熱するところがあり、多少温度が上がります	故障ではありません	—

付録 索引

数字

「186」付加 69,78

五十音

【ア行】

インターホンモード 12,30,78
 応答確認機能 37
 オプション 42
 音声案内 15
 音量 29,31,33
 音量つまみ 21

【カ行】

回線接続端子 22
 回転灯 43,46
 外部出力機器 37,46
 壁掛け 23
 壁掛け用穴 22,23
 壁掛け用木ネジ 23
 緊急通報 13
 緊急通報する 28,32
 緊急通報優先機能 27
 警報音の自動停止 69,74
 警報音モード 69,74
 故障かな？と思ったら 84

【サ行】

システムデータ
 システムデータ項目一覧表 68
 システムデータを設定する 66
 受信機端子 22
 仕様 89
 小電力型ワイヤレスリモート
 スイッチ3 14,42,44
 初期化 69,76
 スピーカ 21
 接続 59
 設定
 設定操作の流れ 66
 接点出力端子 22
 接点出力方式 70,80
 センサ 15,45
 センサの設定 70,81
 センサ端子 22
 センサ通報機能 36
 外付け電話機接続端子 22

【タ行】

ダイヤル種別 62,69,78
 着信応答動作 69,78
 着信自動応答 69,79
 着信自動応答機能 38
 通報
 通報が完了したことを確認する 14
 通報できることを確認する 65
 通報の有無 70,80
 離れたところからの通報 14
 通報オプションタイマ 70,81
 通報音声メッセージ 70,82
 通報音声メッセージ送出機能 38
 通報回数 68,72,73
 通報完了
 通報完了したことを確認する 37
 通報先 36
 通報先の登録 36,64,68,71
 通報終了タイミング 68,72,73
 通報巡回機能 36
 通報順序 68,72,73
 通報遅延時間 38,70,81
 通報方式 70,79
 通報メッセージ 13
 通報モード 12,26,78
 通報ランプ
 通報ランプ1～3 21
 通報ランプの表示 29,31,33
 停電 15
 電池パックを取り付けて
 いない場合 48
 電池パックを取り付けている場合 51
 利用できない機能 49
 利用できる機能 49
 停電／復電通報 48,49,50,51,52,80
 テレコントロール機能 39,79
 電源コード 22
 電源プラグ 22
 電源ランプ 21
 電池カバー 22
 電池切れ通報 53
 電池切れ通報機能 37
 電池パック 42,46
 電池パックを交換する 54
 電池パックを取り付けて
 いない場合 48
 電池パックを取り付けて
 いる場合 51
 電池パックを取り付ける 54

付録 索引

電話	
電話を受ける	26
電話をかける	26
電話回線の種別	60
電話番号	
こちらの電話番号を	
登録する	63,69,77
特長	12
とめるボタン	21
【ハ行】	
ハンドフリー通話	13,69,74
非常ボタン	21
ブザー	21
付属品	20
ペンダント	44
保守サービスのご案内	90
【マ行】	
マイク	21
【ヤ行】	
優先通報選択	70,83
呼出音	
呼出音が鳴ったとき	34
呼び出し時間	69,74
呼び出しをする	30
【ラ行】	
リモートスイッチS	42,46
録音	
音声メッセージの録音	69,75
通報音声メッセージの録音	38

仕様 付録

使用回線	一般加入電話回線または構内交換機の内線
ダイヤル方式	PBまたはDP (20 PPS)
通報宛先	7宛先
通報方式	音声合成方式、録音音声方式
電源	AC100 V±10 V 50/60 Hz
予備電源	ニッケル水素電池 (CT-デンチパック-062) オプション
消費電力	約5 W (本体)
外形寸法	約140 mm (幅) × 約55 mm (奥行き) × 約190 mm (高さ)
質量	約720 g (本体)
使用条件	0~40 °C、5~90 % RH (結露しないこと)

付録 保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	・ 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	・ 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用、および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますので、ご了承ください。） ・ 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生のあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。



本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： ☎0120-^{トークニーナ}109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2003 NTTEAST・NTTWEST



本2428-1(2003.4)
アンシンーS3トリセツ